

# 平成19年度 教育学部授業日程計画

前 期							後 期										
曜日	日	月	火	水	木	金	土	備 考	曜日	日	月	火	水	木	金	土	備 考
4月	1	2	3	4	5	6	7	1日～7日 春季休業 2日 初エンターション(新入生) 6日 初エンターション(在学生) 9日 入学式, 初エンターション(在・新) 10日 授業開始	10月		1	2	3	4	5	6	1日 授業開始
	8	9	10	11	12	13	14	29日～5月5日 特別休業 29日 昭和の日 30日 振替休日		7	⑧	9	10	11	12	13	8日 体育の日 9日は月曜日の授業を行う。
	15	16	17	18	19	20	21			14	15	16	17	18	19	20	
	22	23	24	25	26	27	28			21	22	23	24	25	26	27	22日 開学記念日
	⑳	㉑								28	29	30	31				
5月			1	2	③	④	⑤	3日 憲法記念日 4日 みどりの日 5日 こどもの日	11月					1	2	③	3日 文化の日
	6	7	8	9	10	11	12			4	5	6	7	8	9	10	21日・22日午前 補講期間 23日 勤労感謝の日 【23日～25日 大学祭】 22日 午後臨時休業 (大学祭準備) 26日 臨時休業(大学祭片付け)
	13	14	15	16	17	18	19			11	12	13	14	15	16	17	
	20	21	22	23	24	25	26			18	19	20	21	22	㉓	24	27日は月曜日の授業を行う。
	27	28	29	30	31					25	26	27	28	29	30		
6月						1	2		12月							1	
	3	4	5	6	7	8	9			2	3	4	5	6	7	8	
	10	11	12	13	14	15	16			9	10	11	12	13	14	15	23日 天皇誕生日 24日 振替休日 25日 20年9月卒業に係る卒業研究 研究題目・概要届提出締切
	17	18	19	20	21	22	23			16	17	18	19	20	21	22	22日～25日 集中講義ゾーン⑥ 25日～1月7日 冬季休業 26日～28日 補講期間
	24	25	26	27	28	29	30			㉓	㉔	25	26	27	28	29	
7月	1	2	3	4	5	6	7	10日 20年3月卒業に係る卒業研究 研究題目・概要届提出締切 16日 海の日 17日は月曜日の授業を行う。	1月			①	2	3	4	5	1日 元日 9日は月曜日の授業を行う。
	8	9	10	11	12	13	14	18日～31日 前期末試験(教養教育科目) 25日～31日 前期末試験(専門科目) 31日 19年9月卒業に係る卒業研究 研究題目提出締切		6	7	8	9	10	11	12	10日 補講日 14日 成人の日 18日 大学入試センター試験実施に伴う 臨時休講
	15	⑒	17	18	19	20	21			13	⑒	15	16	17	18	19	19日・20日 大学入試センター試験 31日 20年3月卒業に係る卒業研究 研究題目提出締切
	22	23	24	25	26	27	28			20	21	22	23	24	25	26	28日～2月8日 後期末試験(教養教育科目)
	29	30	31							27	28	29	30	31			
8月				1	2	3	4	1日～3日 補講期間 1日～9月30日 夏季休業 4日～7日 集中講義ゾーン① 8日～11日 集中講義ゾーン②	2月						1	2	4日～8日 後期末試験(専門科目)
	5	6	7	8	9	10	11			3	4	5	6	7	8	9	
	12	13	14	15	16	17	18			10	⑒	12	13	14	15	16	11日 建国記念の日 12日～3月31日 臨時休講
	19	20	21	22	23	24	25			17	18	19	20	21	22	23	
	26	27	28	29	30	31				24	25	26	27	28	29		
9月							1	7日～10日 集中講義ゾーン③ 11日～14日 集中講義ゾーン④ 15日～18日 集中講義ゾーン⑤	3月							1	
	2	3	4	5	6	7	8			2	3	4	5	6	7	8	
	9	10	11	12	13	14	15			9	10	11	12	13	14	15	
	16	⑒	18	19	20	21	22	17日 敬老の日 23日 秋分の日 24日 振替休日		16	17	18	19	⑒	21	22	20日 春分の日
	㉓	㉔	25	26	27	28	29			23	24	25	26	27	28	29	25日 卒業式
	30									30	31						
前期計	15	15	15	15	15			授業週数(含試験)	後期計	15	15	15	15	15			授業週数(含試験)

◎期区分：1期4月1日～6月5日 2期6月6日～9月30日 3期10月1日～11月30日 4期12月1日～3月31日

## Ⅲ 履修等について

### 1 卒業認定に必要な単位数

学部規程第16条、第17条及び第23条に示す各課程の「卒業認定に必要な単位数（別表第8及び第9）（以下卒業要件という。）」は、卒業のために要求される最低の基準です。この基準に従って単位を修得すれば、その課程の主目的とする主免許状の取得に必要な単位数は満たされるようになっていきます。

なお、他の免許状取得希望者は「教育職員免許状取得に要する単位数について」及び別冊の「卒業要件外教員免許取得ガイド」を参照してください。

### 2 一般的注意

- (1) この「手引」に示すものは、主に専門科目に関する事柄であって、学部の全学生に共通なものは、『Ⅲ履修について』、『Ⅳ教育実習等について』に、各課程の細部にわたるものは、『Ⅶ教育学部各課程カリキュラム』に記載してあります。
- (2) 卒業要件は、各課程ごとに周到な配慮のもとに定められていますが、最低の基準を示したものであり、学生はそれを超えるように単位修得の計画を立ててください。
- (3) 主目的とする主免許状のほか、さらに他の免許状の取得を希望する者は、免許状の種類によって取得に必要な単位の内容が異なるので、それぞれの内容を十分理解しておくことが必要です。  
（「卒業要件外教員免許取得ガイド」参照）
- (4) 諸届及び提出物は、指定された期日・時刻までに提出しなければなりません。ただし、手引で指定された期日が休日の場合は、翌日とします。
- (5) 履修に関しては、この手引及びシラバスを熟読し、各自の責任において誤りのないよう留意してください。

### 3 履修科目の決定

#### （履修科目の登録）

- (1) 学生は、各学期ごとに履修しようとする科目を決定し、学期の始めに掲示により指定された期間に学内のパソコンを利用してWebにより履修登録を行ってください。履修登録ができていない科目の履修及び単位修得は認められません。

また、履修登録を行った翌日以降に、必ず登録チェックを学内のパソコンで行ってください。

（チェック結果がエラーとなった科目は、履修登録できていません。）

#### （集中講義及び臨時に開講される授業科目の履修）

- (2) 集中講義及び学期の中途から臨時に開講される授業科目の履修登録期間についても、掲示により指示します。

#### （教養教育科目に関する履修登録単位数の制限）

- (3) 教養教育科目については、1年間に履修登録できる単位数は**31単位以内**となりますので、注意してください。なお、専門科目に関しては、特に上制限は設けていませんが、授業履修に支障のない範囲で履修登録を行うようにしてください。

#### （繰り返し履修）

- (4) 授業科目の繰り返し履修については以下のとおりです。

① 専門科目の同一授業科目は原則として繰り返し履修することはできません。繰り返し履修することができるものは、時間割にその旨記載されてあるものに限り、次のとおり取り扱います。

ア 繰り返し履修した授業科目の2回目以降の単位は免許取得に使えません。

イ 卒業要件単位数としては、修得した単位の2回分までを上限として算入できます。

- ② 教養教育科目については同一名の授業科目を重複して履修することはできません。(単位未修得となった場合の再履修は除く。)ただし、スポーツ実習は同一名の授業科目でも履修できるほか、外国語科目の中にも同一名の授業科目であっても履修できるものがあります。詳細は「教養教育科目履修の手引」を参照してください。

#### (履修者の制限)

- (5) 特定の授業科目について履修希望者が多く、設備の関係で全員が履修できない場合は、一部の者に履修の変更又は延期を求めることがあります。その場合の履修者の決定は、当該科目のコース生、高年次の学生を優先的に取り扱います。その他必要に応じて担当教員が指示します。

#### (組編成・学年指定)

- (6) 科目によっては、組編成により学年、学期及び時限が指定される場合があります。この場合は、それぞれ指定された学年、学期及び時限に履修しなければなりません。

### 4 定期試験等

- (1) 試験は、原則として学期末(8週間で完結する講義にあつては4半期末)に各授業担当教員の指示する日及び時限内で行います。
- (2) 病気その他やむを得ない事故等のために受験できない者に対しては、試験を延期されることがあります。このような事態が発生した場合は、すみやかに授業担当教員に申し出て、指示に従ってください。受験延期を許可された者に対しては、適当な時期に追試験を行います。
- (3) レポート等は、指定された期限までに直接授業担当教員に提出しなければなりません。

### 5 受験心得

専門科目の定期試験等の受験に関する注意事項は、下記のとおりです。各事項を充分熟読の上受験してください。

- (1) 受験する学生は特別の指示がない限り、試験開始時刻の5分前までに所定の教室に入室を完了すること。
- (2) 監督者が指定した座席において受験すること。
- (3) 受験中は必ず学生証を机の上に置くこと。  
ただし、学生証を紛失又は忘れた場合は、監督者に申し出て、その指示に従うこと。
- (4) 受験中、机の上に置くことができるものは、学生証、筆記用具(筆箱等を除く。)及びその他特に許可されたものに限る。それ以外の携行品はカバン等に入れて、座席の下に置くこと。携帯電話・PHS等は、必ず電源を切ってカバン等に入れること。
- (5) 解答用紙には、所属学部等名、入学年、番号及び氏名等の必要事項を必ず万年筆又はボールペンで記入すること。
- (6) 試験開始後20分を経過するまでは退室できない。
- (7) 試験開始後20分を経過した場合は入室できない。
- (8) 答案用紙は、特に指定がない場合、教卓上に提出するか、又は監督者に直接手渡すこと。自己の机の上に置いて退室すると無効になる場合がある。
- (9) 受験にあたっては、厳正な態度で臨み、誤解を招くような態度や不正行為は厳に慎むこと。  
なお、監督者の指示に従わない者、及び不正行為があると認められた者に対しては、学則第58条により厳重な懲戒処分を行う。

### 6 単位の認定及び成績の評価

- (1) 単位の認定は、授業時間の3分の2以上出席した者について、試験・レポート及び平素の成績等により、授業担当教員が行います。
- (2) 成績の評価は、優(100~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、修了及び認定を合格(単位

修得)とし、不可(59点以下)を不合格(単位未修得)とします。

## 7 成績の登録及び通知

- (1) 修得した授業科目の成績は、すべて学籍簿に登録されます。
- (2) 成績通知方法については、次の学期の始まる前(卒業年次後期の場合は学期末)に、別途掲示によりお知らせします。

## 8 卒業研究

### (実施の主旨)

- (1) 本学部において「卒業研究」を課す目的は、それぞれの専門分野における研究や実習に関し、科学的な方法等を身に付け、将来の研究や実践の基礎を築くためです。

### (資格)

- (2) 原則として、翌年3月に卒業見込みの学生であり、指導教員の承認を得た者

### (種類)

- (3) 論文、報告書等、制作、演奏、作曲、実験等

### (単位)

- (4) 卒業研究の審査を受けて合格した場合は、6単位が与えられます。

「卒業研究」の単位を修得しなければ、卒業は認められません。

### (指導教員)

- (5) 卒業研究は、原則として毎週時間を定め、指導教員の指導の下に行わなければなりません。指導教員の指示により、他の教員の助言を受けることができます。

### (題目の定め方)

- (6) 各学生は、指導教員の指導により卒業研究の題目を決定してください。

決定した題目は、卒業研究題目・概要届により卒業年度の7月10日までに指導教員に届け出なければなりません。

また、前期末に卒業する見込の者は、その前年の12月24日までに卒業研究題目・概要届を指導教員に届け出なければなりません。

上記の手続きをしない者は、「卒業研究」の履修が認められません。

### (提出締切)

- (7) 卒業研究は、卒業の年の1月末日までに、教務学生係へ必ず提出しなければなりません。なお、制作、演奏については、指導教員の制作受領書もしくは演奏確認書を提出することとし、期日は上記に準じます。

また、前期末に卒業する見込の者は、その年の7月末日までに、教務学生係に必ず提出しなければなりません。

## 9 教員免許状

学校教育教員養成課程では、所属するコースの卒業要件に必要な単位を修得すれば、主免許状としてそれぞれ小学校、中学校(各教科)、特別支援学校(旧・養護学校)、幼稚園の教諭の一種免許状を取得できるようになっています。

養護教諭養成課程では、卒業要件に必要な単位を修得すれば、主免許状として養護教諭一種免許状が取得できるようになっています。

なお、小学校及び中学校教諭の普通免許状取得には、介護等体験を必要とします。詳細は、『IV教育実習等について』の介護等体験の項を参照してください。

## 10 フレンドシップ事業

教職を志す学生が種々の体験的活動を通して子供達と触れ合い、子供の気持ちや行動を理解し、実践的指導力の基礎を身に付けることを目的に、「体験実習」科目として「フレンドシップ学習の理論と実際」を開講します。履修対象は2年次生以上ですが、希望者多数の場合は、高年次の学生を優先して履修者を決定します。詳細な講義予定は、掲示によりお知らせします。

## 11 プロジェクト科目

プロジェクト科目では、地域社会の中で教育実践を生み出していく力を高めるために、学校現場のご協力をいただきながら、現場の抱える問題を解決したり、学校に対する社会的要請に応えたりする実践に参加します。積極的な履修を期待します。

## 12 気象警報が発表された場合等における授業及び課外活動の取扱い

(1) 台風等により、岡山地域又はこれを含む岡山県南部地域あるいは岡山県全域に、岡山地方気象台から次の気象警報が発表された場合は、授業（定期試験を含む。）を以下のとおり取り扱います。

〔岡山地域とは、岡山地方気象台の注意報・警報の発表区分である岡山地域（岡山市・玉野市・瀬戸内市・加賀郡吉備中央町（旧加茂川町））を指します。〕

### ① 対象となる気象警報の種類

「暴風警報」、「暴風雪警報」及び「大雪警報」

### ② 授業の取扱い

- ・ 午前6時から午前8時40分までに警報が出されている場合、当日の全ての授業が休講となります。
- ・ 警報が午前8時40分までに解除されても、全ての授業が休講となります。
- ・ 授業開始後に警報が出された場合は、次の時限以降の授業が休講となります。

上記休講措置の対象とならない警報や、局地的な災害発生で交通機関が運休するなどにより登校が困難な場合は、受講できなかった授業を公欠扱いとしますので、後日「気象警報・災害発生による授業公欠届」を教務学生係に提出してください。

(2) 地震等の緊急事態が発生した場合、状況を調査の上、授業等の実施に支障があるときは、追って、授業の取扱いを周知します。

授業時間中に発生した場合は、教職員の指示に従ってください。

(3) 休講となった授業の補講及び公欠扱いとした学生に係る授業の取扱い

- ① 定期試験が休講の場合：別の期日に試験を行います。
- ② 定期試験を公欠した場合：別の期日に追試験を行います。
- ③ 通常授業が休講の場合：後日補講を行います。
- ④ 通常授業を公欠した場合：補講はせず、授業担当教員の指示によりレポート等の授業時間外（教室外）学習を行います。

(4) 課外活動は、休講措置がとられた場合、全て禁止となります。

(5) 確認・周知方法等

気象警報の確認は、各自が気象台の天気予報、マスメディア等により行ってください。

休講措置の周知は、掲示板、本学のホームページ、マスメディアを通じてお知らせします。

なお、授業開始後に警報が出された場合には、掲示並びに授業担当教員を通じてお知らせします。

また、直ちに下校することが危険な場合には、講義室等で待機してください。

## IV 教育実習等について

### 1 教育実習

教育実習は、教育実習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ及び学校教員インターンシップからなり、積み上げ方式なので、教育実習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ・・・という順序で履修することになります。

#### (1) 教育実習Ⅰ（必修科目）

1年次での附属4校園における4日間の観察・参加実習と、2年次での特別支援学校における2日間の観察・参加実習（障害児教育コースを除く。）をもって1単位となります。

#### (2) 教育実習Ⅱ（必修科目）

教育実習Ⅱ（学部内演習授業：講義題目は、〇〇実習基礎研究）は、3年次での教育実習Ⅲ（主免許）の事前・事後指導です。

障害児教育コースの学生は、教育実習Ⅱに加え、特別支援（障害児）教育実習Ⅱも履修してください。

#### (3) 教育実習Ⅲ（必修科目）

教育実習Ⅰ～Ⅳの中で中核となる実習です。所属コースに対応した主免許の実習を附属学校園で4週間実施します。

教育実習Ⅲの履修にあたっては、その履修時期までに18頁の「7(2)教育実習Ⅲの履修資格」の基準を満たさなければなりません。

なお、障害児教育コースでは基礎となる附属小・中学校での教育実習Ⅲに加え、附属特別支援学校で特別支援（障害児）教育実習Ⅲ（2年次1週間、3年次3週間）を実施します。

#### (4) 教育実習Ⅳ（選択科目）

教育実習Ⅳは、教科指導や生徒指導ができるように、より実践的な指導力の基礎を育成するために、公立の小・中学校及び幼稚園で1週間実施する応用実習です。教職を目指す場合は是非履修してください。

#### (5) 学校教員インターンシップ

学校教育教員養成課程では、教科指導や生徒指導に関わる「実践的な指導力の基礎」をより一層育成する観点から4年次の希望者を対象に教育学部と岡山県教育委員会との連携協力による「学校教員インターンシップ」を後期に実施します。次年度4月から教職に就く予定の学生は、是非履修し、採用当初から実践的指導力を発揮できるように教職実践力を高めてください。

### 2 養護実習

養護実習は、養護実習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ及びⅣからなります。

#### (1) 養護実習Ⅰ（必修科目）

1年次での附属4校園における4日間の観察・参加実習と、2年次での特別支援学校における2日間の観察・参加実習をもって1単位となります。

#### (2) 養護実習Ⅱ（必修科目）

養護実習Ⅱ（学部内演習授業：講義題目は、養護実習基礎研究）は、3年次での養護実習Ⅲ（主免許）の事前・事後指導です。

#### (3) 養護実習Ⅲ、養護実習Ⅳ（必修科目）

養護実習Ⅲは附属学校園において1週間、養護実習Ⅳは公立学校において2週間実施します。

養護実習Ⅲの履修にあたっては、その履修時期までに19頁の「8(2)養護実習Ⅲの履修資格」の基準を満たさなければなりません。

### 3 保育実習

幼稚園教育・保育所保育専門系の学生が対象です。

保育実習は、2・3年次（平成18年度入学者は、3年次）における『保育実習（Ⅰ事前・事後指導）』と、本実習の『保育実習（ⅠA）』、『保育実習（ⅠB）』及び『保育実習Ⅱ』からなります。

なお、単位数については71頁記載の系関係科目「幼稚園教育・保育所保育専門系学生対象」を参照してください。

(1) 保育実習（Ⅰ事前・事後指導）

保育所と社会福祉施設における本実習に備えて、それらの事前・事後指導を学内で行うもので、この授業科目を修得しなければ本実習（ⅠA，ⅠB，Ⅱ）を履修することはできません。

(2) 保育実習（ⅠA）

2年次の後期（平成18年度入学者は、3年次の後期）に保育所において、10日間の実習を行います。

(3) 保育実習（ⅠB）

3年次の前期に社会福祉施設において、10日間の実習を行います。

(4) 保育実習Ⅱ

3年次の後期に保育所において、10日間の実習を行います。

#### 4 履修手続き及び履修方法

(1) 教育実習Ⅰ・養護実習Ⅰを履修する場合は、定められた期日までに、「教育実習・養護実習履修届」を教務学生係に提出しなければなりません。また、教育実習Ⅲ・Ⅳ、養護実習Ⅲ・Ⅳを履修する場合は、定められた期日までに、「教育実習・養護実習履修調書」を教務学生係に提出しなければなりません。

なお、教育実習Ⅱ・養護実習Ⅱを履修する場合は、Webにより履修登録を行ってください。

(2) 保育実習を履修しようとする者は、保育実習担当教員の指示に従って、必要な手続きをしなければなりません。

(3) 教育実習・養護実習及び保育実習は、**全出席を原則とします。**

(4) 教育実習・養護実習及び保育実習の事前・事後指導及び実習校別オリエンテーションは、それぞれの実習の一部なので、これを**必ず受けなければなりません。**

(5) 健康診断

1) 教育実習・養護実習を履修しようとする者は、春に実施される定期健康診断を受けなければなりません。

2) 保育実習を履修しようとする者は、上記の定期健康診断のほか、別に指示する検査を受診しなければなりません。

(6) 学生教育研究災害傷害保険等への加入

教育実習・養護実習及び保育実習を履修しようとする者は、実習中の事故に備えて、「学生教育研究災害傷害保険」に加入しなければなりません。詳細は教務学生係に問い合わせてください。

#### 5 教育実習・養護実習に伴う通常授業の補講等の措置について

授業科目の単位修得には、授業時間の3分の2以上の出席が前提となります。

このため、下記に記載する主免許及び副免許実習のために、教育学部の専門科目の授業を欠席する場合は、所定の手続きを経て、後日、補講等を受講する必要があります。

(1) 手続き方法

実習前までに、教務学生係窓口へ備え付けの「欠席届（所定用紙）」に必要事項を記入の上、各自で各授業担当教員に提出してください。

**注1 後期開始直後から実習が始まる場合は、実習終了後速やかに欠席届を提出してください。**

**2 この欠席届は、教育学部の専門科目についてのみ措置するもので、教養教育科目及び他学部**

**部の専門教育科目は対象となりません。**

(2) 補講等の連絡

実習終了後、補講等の措置について各授業担当教員から指示がありますので、その指示に従ってください。

(3) 欠席届の対象となる教育実習・養護実習

区分	実習名
主免許	教育実習Ⅰ，Ⅲ，Ⅳ
	特別支援（障害児）教育実習Ⅲ
	養護実習Ⅰ，Ⅲ，Ⅳ
副免許	教育実習Ⅲ
	特別支援（障害児）教育実習Ⅲ

## 6 介護等体験

小学校及び中学校教諭の普通免許状の取得には、2年次に特別支援学校で2日間、社会福祉施設等で5日間、合計7日間の「介護等体験」を必ず受けなければなりません。詳細は別途掲示によりお知らせします。

なお、教育実習Ⅰ（2年次観察・参加実習）は特別支援学校での2日間の介護等体験を兼ねています。

介護等体験実施後は、介護等体験を修了した旨の「証明書」が交付されます。この「証明書」は4年次の11月頃に行う教育職員免許状申請の際に必要となります。紛失しても原則として再発行されませんので、各自責任をもって「証明書」を保管してください。

## 7 学校教育教員養成課程 教育実習の単位数・履修時期・履修資格

### (1) 教育実習の単位数・履修時期

実習の種類・単位数		コース等		障害児教育コース				幼児教育コース	履修時期		
		小学校教育コース	中学校教育コース	小：障	中：障	中：障	小：障				
必修	主免許実習単位	I	1							1・2年次	
		II	1	1	1	1	1	1	1	3年次前期 (障は2年次後期)	
		III	4	4	4	※1 4	4	※1 4	4	3年次後期	
選択	応用実習単位	IV	1	1	—	—	—	—	1	4年次前期	
	学校教員インターンシップ <sup>o</sup> 単位		1	1	1			1	4年次後期		
	副免許実習単位	種類	中：障：幼	小：障：幼	—		—		小：中：障		
		I	—	—	—	—	—	—	—		
		※2 II	—	1	—	—	1	—	—	1	3年次後期
※3 III	2	2	2	2	2	—	—	2	2	2	4年次

※1 特別支援（障害児）教育実習の一部は、2年次で行います。なお、この場合は観察・参加を中心とするので、履修に必要な最低修得単位数(72)の規定を受けません。

※2 副免許で幼、小、中、高の免許を取得する場合、主免許用の教育実習Ⅱを履修していれば、副免許のための教育実習Ⅱは省くことができます。ただし、特別支援学校（旧・養護学校）の免許を取得する場合は特別支援教育実習Ⅱ（障害児教育実習Ⅱ）を履修してください。

※3 副免許取得のための教育実習は、附属学校園の受入可能人数を超えた場合、履修できないことがあります。

### (2) 教育実習Ⅲの履修資格（教育実習前までに必ず下記の単位数を修得しておくこと。）

科目区分		コース	小学校教育コース	中学校教育コース	障害児教育コース		幼児教育コース			
					小：障	中：障				
履修に必要な最低修得単位数	教養教育科目									
	教職に関する科目	教職の意義等に関する科目 教育の基礎理論に関する科目	1	2	8	1	2	8	1	2
		教育課程及び指導法に関する科目 生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	2	2	2	2	2	2	2	
		総合演習 教育実習Ⅰ・Ⅱ	2	2	2	2	2	2	2	
		教科に関する科目 教科又は教職に関する科目 専修科目・自由選択科目								
	総単位数	7	2	7	2	7	2	7	2	

8 養護教諭養成課程 養護実習及び教育実習（保健）の単位数・履修時期・履修資格

(1) 養護実習及び教育実習（保健）の単位数・履修時期等

実習の種類		単位	履修時期	内容	
必修	養護実習	I	1	1・2年次	観察・参加
		II	1	2年次後期	基礎研究
		III	1	3年次前期	附属校園
		IV	2	3年次後期	協力校
選択	教育実習（保健）※	I	—		
		II	1	3年次後期	基礎研究
		III	4	4年次前・後期	附属中・協力校

※ 副免許（保健）のための教育実習Ⅲは4年次前期に協力校において2週間、4年次後期に附属中学校において2週間実施し、両方あわせて4単位となります。なお、3年次後期に教育実習Ⅱを履修しておかなければなりません。

(2) 養護実習Ⅲの履修資格（養護実習前までに必ず下記の単位数を修得しておくこと。）

科目区分		単位数	
履修に必要な最低修得単位数	教養教育科目		
	教職に関する科目	教職の意義等に関する科目	8
		教育の基礎理論に関する科目	
		教育課程及び指導法に関する科目	
		生徒指導及び教育相談に関する科目	2
		総合演習	
		養護実習Ⅰ・Ⅱ	2
		養護に関する科目	
		養護又は教職に関する科目	
		自由選択科目	
総単位数		60	

学校教育教員養成課程 小学校教育コース 卒業要件単位数

教養教育科目	別表第8 卒業認定に必要な教養教育科目単位数の表により単位を修得すること。				31単位		
専門科目	学部科目	教職の意義等に関する科目			2単位	104単位	
		教職に関する科目	教育の基礎理論に関する科目	教育の理念, 歴史及び思想 心身の発達及び学習の過程 社会的, 制度的又は経営的事項	4単位 6単位 4単位		14単位
			教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法 道徳の指導法 特別活動の指導法 教育の方法及び技術	2単位 2単位 2単位 4単位		10単位
		生徒指導, 教育相談及び進路指導等に関する科目			4単位		
		総合演習			2単位		
		教職に関する科目に準ずる科目			4単位		
	コース科目	教職に関する科目	各教科の指導法		18単位		
			教育実習		6単位		
		教科に関する科目		18単位			
	専修科目				12単位		
	自由選択科目				8単位		
	卒業研究				6単位		
	卒業要件単位数合計						135単位

(注) 小学校教諭の普通免許状を取得するには、「介護等体験」が必要である。

学校教育教員養成課程 中学校教育コース 卒業要件単位数							
教養教育科目	別表第8 卒業認定に必要な教養教育科目単位数の表により単位を修得すること。				31単位		
専門科目	学部科目	教職に関する科目	教職の意義等に関する科目		2単位	99単位	
			教育の基礎理論に関する科目	教育の理念, 歴史及び思想 心身の発達及び学習の過程 社会的, 制度的又は経営的事項	4単位 6単位 4単位		14単位
			教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法 道徳の指導法 特別活動の指導法 教育の方法及び技術	2単位 2単位 2単位 4単位		10単位
			生徒指導, 教育相談及び進路指導等に関する科目		4単位		
			総合演習		2単位		
			教職に関する科目に準ずる科目		2単位		
	コース科目	教職に関する科目	教育実習		6単位		
	専修科目	各教科の指導法		6単位	46単位		
		教科に関する科目		30単位			
	※教育学専修及び教育心理学専修は, 別に指定された10単位を含む。						
	自由選択科目				7単位		
卒業研究				6単位			
卒業要件単位数合計					130単位		

(注) 中学校教諭の普通免許状を取得するには, 「介護等体験」が必要である。

【平成19年度入学者適用】

学校教育教員養成課程 障害児教育コース 基礎免：小学校教諭免許 卒業要件単位数							
教養教育科目	別表第8 卒業認定に必要な教養教育科目単位数の表により単位を修得すること。				31単位		
専門科目	学部科目	教職に関する科目	教職の意義等に関する科目		2単位	110単位	
			教育の基礎理論に関する科目	教育の理念、歴史及び思想 心身の発達及び学習の過程 社会的、制度的又は経営的事項	4単位 6単位 4単位		
			教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法 道徳の指導法 特別活動の指導法 教育の方法及び技術	2単位 2単位 2単位 4単位		
			生徒指導，教育相談及び進路指導等に関する科目		4単位		
			総合演習		2単位		
			教職に関する科目に準ずる科目		2単位		
	コース科目	教職に関する科目	各教科の指導法（小学校）		18単位		
			教育実習（小学校）		6単位		
		教科に関する科目（小学校）		18単位			
		特別支援教育に関する科目		28単位			
	卒業研究				6単位		
	卒業要件単位数合計						141単位

【平成18年度入学者適用】

学校教育教員養成課程 障害児教育コース 基礎免：小学校教諭免許 卒業要件単位数							
教養 教育 科目	別表第8 卒業認定に必要な教養教育科目単位数の表により単位を修得すること。				31単位		
	専 門 科 目	学 部 科 目	教職の意義等に関する科目			2単位	107単位
教職に 関 する 科目			教育の基礎理論に関する科目	教育の理念、歴史及び思想 心身の発達及び学習の過程 社会的、制度的又は経営的事項	4単位 6単位 4単位	14単位	
			教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法 道徳の指導法 特別活動の指導法 教育の方法及び技術	2単位 2単位 2単位 4単位	10単位	
生徒指導，教育相談及び進路指導等に関する科目			4単位				
総合演習			2単位				
教職に関する科目に準ずる科目			2単位				
コ ー ス 科 目		教職に 関 する 科目	各教科の指導法（小学校）		18単位		
			教育実習（小学校）		6単位		
		教科に関する科目（小学校）			18単位		
		特殊教育に関する科目			25単位		
卒業研究				6単位			
卒業要件単位数合計					138単位		

【平成19年度入学者適用】

学校教育教員養成課程 障害児教育コース 基礎免：中学校教諭免許 卒業要件単位数							
教養教育科目	別表第8 卒業認定に必要な教養教育科目単位数の表により単位を修得すること。				31単位		
専門科目	学部科目	教職に関する科目	教職の意義等に関する科目		2単位	108単位	
			教育の基礎理論に関する科目	教育の理念、歴史及び思想 心身の発達及び学習の過程 社会的、制度的又は経営的事項	4単位 6単位 4単位		14単位
			教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法 道徳の指導法 特別活動の指導法 教育の方法及び技術	2単位 2単位 2単位 4単位		10単位
			生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目		4単位		
			総合演習		2単位		
			教職に関する科目に準ずる科目		2単位		
	コース科目	教職に関する科目	各教科の指導法（中学校）		4単位		
			教育実習（中学校）		6単位		
		教科に関する科目（中学校）		30単位			
		特別支援教育に関する科目		28単位			
	卒業研究		6単位				
	卒業要件単位数合計						139単位

【平成18年度入学者適用】

学校教育教員養成課程 障害児教育コース 基礎免：中学校教諭免許 卒業要件単位数							
教養教育科目	別表第8 卒業認定に必要な教養教育科目単位数の表により単位を修得すること。				31単位		
専門科目	学部科目	教職に関する科目	教職の意義等に関する科目		2単位	105単位	
			教育の基礎理論に関する科目	教育の理念、歴史及び思想 心身の発達及び学習の過程 社会的、制度的又は経営的事項	4単位 6単位 4単位		14単位
			教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法 道徳の指導法 特別活動の指導法 教育の方法及び技術	2単位 2単位 2単位 4単位		10単位
			生徒指導，教育相談及び進路指導等に関する科目		4単位		
			総合演習		2単位		
			教職に関する科目に準ずる科目		2単位		
	コース科目	教職に関する科目	各教科の指導法（中学校）		4単位		
			教育実習（中学校）		6単位		
		教科に関する科目（中学校）		30単位			
		特殊教育に関する科目		25単位			
	卒業研究				6単位		
	卒業要件単位数合計						136単位

学校教育教員養成課程 幼児教育コース 卒業要件単位数

教養教育科目	別表第8 卒業認定に必要な教養教育科目単位数の表により単位を修得すること。				31単位		
	専門科目	学部科目	教職の意義等に関する科目		2単位	99単位	
教職に関する科目			教育の基礎理論に関する科目	教育の理念, 歴史及び思想 心身の発達及び学習の過程 社会的, 制度的又は経営的事項	4単位 6単位 4単位		14単位
			教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法 教育の方法及び技術	2単位 2単位		4単位
総合演習				2単位			
教職に関する科目に準ずる科目				6単位			
コース科目		教職に関する科目	教育実習		6単位		56単位
			教育の基礎理論に関する科目		2単位		
			教育課程及び指導法に関する科目		18単位		
			生徒指導等に関する科目		2単位		
		教科に関する科目			18単位		
	コース選択科目 (別に定める6単位を含む。)			10単位			
自由選択科目				9単位			
卒業研究				6単位			
卒業要件単位数合計					130単位		

(注) 小学校教諭及び中学校教諭の普通免許状を取得する場合は、「介護等体験」が必要である。

養護教諭養成課程 卒業要件単位数							
教養教育科目	別表第8 卒業認定に必要な教養教育科目単位数の表により単位を修得すること。				31単位		
専門科目	学部科目	教職に関する科目	教職の意義等に関する科目		2単位	99単位	
			教育の基礎理論に関する科目	教育の理念, 歴史及び思想 心身の発達及び学習の過程 社会的, 制度的又は経営的事項	4単位 6単位 4単位		14単位
			教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法 道徳の指導法 特別活動の指導法 教育の方法及び技術	2単位 2単位 2単位 4単位		10単位
			生徒指導及び教育相談の理論及び方法		4単位		
			総合演習		2単位		
			教職に関する科目に準ずる科目		2単位		
	課程科目	養護に関する科目		40単位			
		養護実習		5単位			
		各教科の指導法(保健)		4単位			
	自由選択科目		10単位				
	卒業研究		6単位				
	卒業要件単位数合計						130単位

(注) 小学校教諭及び中学校教諭の普通免許状を取得する場合は、「介護等体験」が必要である。

平成18年度入学者用

# 学校教育教員養成課程

[小学校教育コース]

## I 学部科目

## 1 教職に関する科目

区分 I	区分 II	選必	授業科目名	単位	履修 年次	卒業要件	備考
教職の意義等に関する科目		必修	教職論	2	1	2	
教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに その歴史及び 思想	必修	教育学概説	2	1	2	4
			教育の哲学と歴史	2	2	2	
		選択	教育哲学	2	3～		
				2	3～		
				2	3～		
	幼児・児童及び 生徒の発達 の過程	必修	学校教育心理学	2	1	2	6
			発達障害教育概論	2	3	2	
		選択 必修	発達心理学A	2	1～	2	
			発達心理学B	2	1～		
			発達心理学C	2	1～		
		選択	学習心理学	2	2～		
		発達心理学特講	2	2～			
	教育に関する 社会的・制度的 又は経営的 事項	必修	教育の制度と社会	2	1	2	4
		選択 必修	教育社会学	2	2～	2	
			教育法制論	2	2～		
		生涯学習社会論	2	2～			
		教育経営学	2	2～			
選択		国際理解教育概説	2	2～			
	人権・同和教育	2	1～				
教育課程及び指導 法に関する科目	教育課程の意義及び編成の 方法	必修	カリキュラム論	2	2～	2	
	道徳の指導法	必修	道徳教育論	2	3	2	
	特別活動の指導 法	必修	特別活動論	2	2	2	
	教育の方法及び 技術	必修	情報メディアの授業活用	2	2～	2	4
選択 必修		学習指導論	2	2～	2		
		学習指導心理学	2	2～			
選択		教育評価・測定	2	2～			
			2	2～			
生徒指導、教育相談 及び進路指導 に関する科目	必修	必修	生徒指導論Ⅰ（教育相談、進路指導を含む）	2	2	2	4
		選択 必修	教育相談論A	2	3～	2	
			進路指導論	2	3～		
		生徒指導論ⅡA	2	3～			
	選択	人格心理学	2	2～			
	教育臨床心理学	2	2～				
	集団心理学	2	2～				
総合演習	選択 必修		総合演習A	2	3～	2	
			総合演習B	2	3～		
			総合演習C	2	3～		
			総合演習D	2	3～		
			総合演習E	2	3～		
			総合演習F	2	3～		

修得することが望ましい

## 2 教職に関する科目に準ずる科目

区分Ⅰ	区分Ⅱ	選必	授業科目名	単位	履修年次	卒業要件	備考	
教職に関する科目に準ずる科目	現代的課題	必修	こどもと異文化理解	2	2	2	中・高免不可 幼・中・高免不可  幼免不可 幼免不可  幼免不可	
		選択必修	小学校における英語活動	2	2～	2		4
			社会福祉	2	2～			
			児童福祉	2	2～			
			青少年と情報社会	2	2～			
			養護原理	2	3～			
			家族援助論	2	3～			
			体験的学習	フレンドシップ学習の理論と実際	2			
		野外活動の理論と実際A（山の体験学習）	2	2～				
		野外活動の理論と実際B（海の体験学習）	2	1～				
	教科横断的思考・表現法	史跡実地踏査	1	2～				
		博物館実習	3	3～				
		算数読解論	2	1～				
		暮らしと環境	2	1～				
		こどもと言葉	2	1～				
		論理と表現	2	2～				
		博物館学Ⅰ	2	2～				
		博物館学Ⅱ	2	2～				
		博物館学Ⅲ	2	3～				
		視聴覚教育メディア論	2	2～				

## II コース科目

## 1 教職に関する科目（各教科の指導法）

区分 I	区分 II	選必	授業科目名	単位	履修年次	卒業要件	備考
各教科の指導法	国語（書写を含む）	必修	初等国語科授業研究（書写を含む）	2	2～	2	18
		選択	初等国語科指導法開発A	2	3～		
			初等国語科指導法開発B	2	3～		
			初等国語科実地研究	2	3～		
	社会	必修	初等社会科授業研究	2	2～	2	
		選択	初等社会科指導法開発	2	3～		
	算数	選択 必修	算数科授業研究A	2	2～	2	
			算数科授業研究B	2	2～		
		選択	算数科指導法開発	2	3～		
	理科	必修	初等理科授業研究A	1	3～	1	
			初等理科授業研究B	1	3～	1	
		選択	初等理科指導法開発	2	3～		
	生活	選択 必修	生活科授業研究A	2	2～	2	
			生活科授業研究B	2	2～		
	音楽	必修	初等音楽科授業研究	2	2～	2	
		選択	初等音楽科指導法開発	2	3～		
	図画工作	必修	図画工作科授業研究	2	2	2	
		選択	図画工作科指導法開発	2	3～		
	体育	必修	初等体育科授業研究	2	2	2	
		選択	初等体育科指導法開発	2	3～		
家庭	選択 必修	初等家庭科授業研究A	2	2～	2		
		初等家庭科授業研究B	2	2～			
	選択	初等家庭科指導法開発A	2	3～			
		初等家庭科指導法開発B	2	3～			

## 2 教職に関する科目（教育実習）

区分 I	区分 II	選必	授業科目名	単位	履修年次	卒業要件	備考
教育実習	/	必修	教育実習Ⅰ（観察・参加実習）	1	1・2	1	6
			教育実習Ⅱ（小学校教育実習基礎研究）	1	3	1	
			教育実習Ⅲ（附属小学校実習）	4	3	4	
		選択	教育実習Ⅳ（協力小学校実習）	1	4		
			学校教員インターンシップ	1	4		

## 3 教科に関する科目

区分Ⅰ	区分Ⅱ	選必修	授業科目名	単位	履修年次	卒業要件	備考
国語		必修	初等国語科内容研究Ⅰ（書写を含む）	2	1	2	18
		選択	初等国語科内容研究Ⅱ（語学）	2	2～		
			初等国語科内容研究Ⅱ（音声）	2	2～		
			初等国語科内容研究Ⅱ（文字・表記）	2	2～		
			初等国語科内容研究Ⅱ（書写）	1	2～		
			初等国語科内容研究Ⅱ（文学）	2	2～		
社会		必修	初等社会科内容研究Ⅰ	2	2～	2	
		選択	初等社会科内容研究ⅡA	2	2～		
			初等社会科内容研究ⅡB	2	2～		
算数		必修	算数科内容研究	2	2～	2	
		選択	数学基礎（代数）	2	1～		
			数学基礎（幾何）	2	1～		
			数学基礎（解析）	2	1～		
			数学基礎（確率）	2	1～		
			数学基礎（統計）	2	1～		
理科		必修	初等理科内容研究	2	2～	2	
		選択	理科基礎（物理学）	1	1～		
			理科基礎（化学）	1	1～		
			理科基礎（生物学）	1	1～		
			理科基礎（地学）	1	1～		
生活		選択必修	生活科内容研究A	2	2～	2	
		生活科内容研究B	2	2～			
音楽		必修	初等音楽科内容研究	2	1～	2	
		選択	音楽の表現と理解	2	1～		
			音楽鑑賞	2	1～		
図画工作		必修	図画工作科内容研究	2	1～	2	
		選択	造形表現（平面）	2	2～		
			造形表現（立体）	2	2～		
			工作演習（計画と実践）	2	3～		
体育		必修	初等体育科内容研究Ⅰ	2	2	2	
		選択	体育・スポーツの楽しさ	2	1～		
			初等体育科内容研究Ⅱ（器械運動）	1	3～		
			初等体育科内容研究Ⅱ（陸上運動）	1	3～		
			初等体育科内容研究Ⅱ（ボール運動）	1	3～		
			初等体育科内容研究Ⅱ（水泳）	1	3～		
			初等体育科内容研究Ⅱ（表現運動）	1	3～		
家庭		選択必修	初等家庭科内容研究A	2	2～	2	
		初等家庭科内容研究B	2	2～			
		選択	家族とくらし	2	1～		

## Ⅲ 専修科目

「教職に関する科目」、「教科に関する科目」及び「教職に関する科目に準ずる科目」として修得した授業科目については、「専修科目」の卒業要件単位として二重に用いることはできない。  
また、区分が空欄の授業科目は、免許取得に使えないものである。

専修名	区分	選必修	授業科目名	単位	履修年次	卒業要件	備考	
教育学専修	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	選択必修	教育哲学	2	3～	6		
			日本教育史	2	3～			
			西洋教育史	2	3～			
	教育の方法及び技術		学習指導論	2	2～			
			教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	教育社会学	2			2～
				教育法制論	2			2～
	生涯学習社会論			2	2～			
	教育経営学			2	2～			
			必修	教育研究法Ⅰ	2			1～
		教育研究法Ⅱ		2	2～	2		
		選択必修	教育哲学演習	2	3～	2		
			日本教育史演習	2	3～			
			西洋教育史演習	2	3～			
			教育社会学演習	2	3～			
			社会教育学演習	2	3～			
			教育行政学演習	2	3～			
国際理解教育演習			2	3～				
教育方法学演習			2	3～				
学校経営学演習	2	3～						
選択	生涯教育計画論	2	3～					
教育心理学専修	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	選択必修	学習心理学	2	2～	2		
			発達心理学特講	2	2～			
	教育の方法及び技術		教育評価・測定	2	2～			
			生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	人格心理学	2			2～
	教育臨床心理学	2		2～				
	集団心理学	2		2～				
		必修		教育心理学基礎演習	2	1		2
			教育統計学Ⅰ	2	2	2		
			教育心理学実験	2	2	2		
		選択必修	教育統計学Ⅱ	2	2～	4		
			発達心理学演習	2	2～			
			人格心理学演習	2	2～			
			教育評価・測定演習	2	2～			
			集団心理学演習	2	2～			
			教育臨床心理学演習	2	2～			
			学習心理学演習	2	3～			
教育心理学特殊実験A	2		3～					
教育心理学特殊実験B	2		3～					
教育心理学特殊実験C	2		3～					
教育心理学特殊実験D	2	3～						
教育心理学特殊実験E	2	3～						
教育心理学特殊実験F	2	3～						

専修名	区分	選必	授業科目名	単位	履修年次	卒業要件	備考	
国語教育専修	指導法	選択必修	初等国語科指導法開発A	2	3～	2		
			初等国語科指導法開発B	2	3～			
		選択	初等国語科実地研究	2	3～			
	教科に関する科目 ・国語	選択必修	初等国語科内容研究Ⅱ（語学）	2	2～	2		1 2
			初等国語科内容研究Ⅱ（音声）	2	2～			
			初等国語科内容研究Ⅱ（文字・表記）	2	2～			
			初等国語科内容研究Ⅱ（書写）	1	2～			
初等国語科内容研究Ⅱ（文学）			2	2～				
		中学校国語教育専修科目						
社会科教育専修	指導法	必修	初等社会科指導法開発	2	3～	2	1 2	
	教科に関する科目 ・社会	選択必修	初等社会科内容研究Ⅱ A	2	2～	2		
			初等社会科内容研究Ⅱ B	2	2～			
		中学校社会科教育専修科目						
数学教育専修	指導法	必修	算数科指導法開発	2	3～	2	1 2	
	教科に関する科目 ・算数	選択必修	数学基礎（代数）	2	1～	2		
			数学基礎（幾何）	2	1～			
			数学基礎（解析）	2	1～			
			数学基礎（確率）	2	1～			
			数学基礎（統計）	2	1～			
		中学校数学教育専修科目						
理科教育専修	指導法	必修	初等理科指導法開発	2	3～	2	1 2	
	教科に関する科目 ・理科	選択必修	理科基礎（物理学）	1	1～	2		
			理科基礎（化学）	1	1～			
			理科基礎（生物学）	1	1～			
			理科基礎（地学）	1	1～			
		中学校理科教育専修科目						
音楽教育専修	指導法	必修	初等音楽科指導法開発	2	3～	2	1 2	
	教科に関する科目 ・音楽	選択必修	音楽の表現と理解	2	1～	2		
			音楽鑑賞	2	1～			
		中学校音楽教育専修科目						
美術教育専修	指導法	必修	図画工作科指導法開発	2	3～	2	1 2	
	教科に関する科目 ・図画工作	選択必修	造形表現（平面）	2	2～	2		
			造形表現（立体）	2	2～			
			工作演習（計画と実践）	2	2～			
		中学校美術教育専修科目						
保健体育専修	指導法	必修	初等体育科指導法開発	2	3～	2	1 2	
	教科に関する科目 ・体育	選択必修	体育・スポーツの楽しさ	2	1～	2		
			初等体育科内容研究Ⅱ（器械運動）	1	3～			
			初等体育科内容研究Ⅱ（陸上運動）	1	3～			
			初等体育科内容研究Ⅱ（ボール運動）	1	3～			
			初等体育科内容研究Ⅱ（水泳）	1	3～			
			初等体育科内容研究Ⅱ（表現運動）	1	3～			
		中学校保健体育専修科目						

(小)

専修名	区分	選必	授業科目名	単位	履修年次	卒業要件	備考
家政教育専修	指導法	選択必修	初等家庭科指導法開発A	2	3～	2	1 2
			初等家庭科指導法開発B	2	3～		
	教科に関する科目・家庭	必修	家族とくらし	2	1～	2	
			中学校家政教育教育専修科目				
英語教育専修	教職に準ずる科目	必修	小学校における英語活動	2	2～	2	1 2
			中学校英語教育専修科目				
		選択必修	中学校英語教育専修科目				

#### IV 自由選択科目

区分 I	区分 II	選必	授業科目名	単位	履修年次	卒業要件	備考
			プロジェクト科目	2			※プロジェクト科目の履修年次は、時間割で確認のこと。
			学校経営と学校図書館	2	4		
			学校図書館メディアの構成	2	4		
			学習指導と学校図書館	2	4		
			読書と人間形成	2	4		
			情報メディアの活用	2	4		

自由選択科目の卒業要件単位については、上記の授業科目の他、本学部開講の専門科目及び他学部開講の専門教育科目の修得単位をあてることができる。(但し、教養教育科目を除く。)

#### V 卒業研究

14頁参照

平成18年度入学者用

# 学校教育教員養成課程

〔中学校教育コース〕

## I 学部科目

## 1 教職に関する科目

区分 I	区分 II	選必	授業科目名	単位	履修 年次	卒業要件	備考	
教職の意義等に関する科目		必修	教職論	2	1	2		
教育の基礎理論に関する科目	教育の理念及び歴史に関する思想	必修	教育学概説	2	1	2	4	
			教育の哲学と歴史	2	2	2		
		選択	教育哲学	2	3～			
			日本教育史	2	3～			
		西洋教育史	2	3～				
	幼児・児童及び生徒の発達過程	必修	学校教育心理学	2	1	2	6	
			発達障害教育概論	2	3	2		
		選択必修	発達心理学A	2	1～	2		
			発達心理学B	2	1～			
			発達心理学C	2	1～			
	選択	学習心理学	2	2～				
		発達心理学特講	2	2～				
	教育に関する制度的・社会的・経済的事項	必修	教育の制度と社会	2	1	2	4	
		選択必修	教育社会学	2	2～	2		
		教育法制論	2	2～				
		生涯学習社会論	2	2～				
		教育経営学	2	2～				
選択		国際理解教育概説	2	2～				
	人権・同和教育	2	1～					
教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法	必修	カリキュラム論	2	2～	2		
		必修	道徳教育論	2	3	2		
		必修	特別活動論	2	2	2		
	教育の方法及び技術	必修	情報メディアの授業活用	2	2～	2		4
		選択必修	学習指導論	2	2～	2		
			学習指導心理学	2	2～			
		選択	教育評価・測定	2	2～			
	教育情報科学概論	2	2～					
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	必修	必修	生徒指導論 I (教育相談、進路指導を含む)	2	2	2	4	
		選択必修	教育相談論A	2	3～	2		
			進路指導論	2	3～			
	選択	必修	生徒指導論 II A	2	3～			
			人格心理学	2	2～			
			教育臨床心理学	2	2～			
総合演習	選択必修		総合演習A	2	3～	2		
			総合演習B	2	3～			
			総合演習C	2	3～			
			総合演習D	2	3～			
			総合演習E	2	3～			
			総合演習F	2	3～			

修得することが望ましい

## 2 教職に関する科目に準ずる科目

区分Ⅰ	区分Ⅱ	選必	授業科目名	単位	履修年次	卒業要件	備考
教職に関する科目に準ずる科目	現代的課題	選択必修	社会福祉	2	2～	2	幼免不可 幼免不可
			児童福祉	2	2～		
			青少年と情報社会	2	2～		
			養護原理	2	3～		
			家族援助論	2	3～		
	体験的学習	フレンドシップ学習の理論と実際	2	2～			
		野外活動の理論と実際A（山の体験学習）	2	2～			
		野外活動の理論と実際B（海の体験学習）	2	1～			
		史跡実地踏査	1	2～			
		博物館実習	3	3～			
	教科横断的思考・表現法	くらしと環境	2	1～			
		論理と表現	2	2～			
		博物館学Ⅰ	2	2～			
		博物館学Ⅱ	2	2～			
		博物館学Ⅲ	2	3～			
			視聴覚教育メディア論	2	2～		幼免不可

## Ⅱ コース科目

## 教職に関する科目（教育実習）

区分Ⅰ	区分Ⅱ	選必	授業科目名	単位	履修年次	卒業要件	備考
教育実習	/	必修	教育実習Ⅰ（観察・参加実習）	1	1・2	1	6
			教育実習Ⅱ（中学校教育実習基礎研究）	1	3	1	
			教育実習Ⅲ（附属中学校実習）	4	3	4	
		選択	教育実習Ⅳ（協力中学校実習）	1	4		
			学校教員インターンシップ	1	4		

## Ⅲ 専修科目（各教科の指導法及び教科に関する科目）

## 国語教育専修

区分Ⅰ	区分Ⅱ	選必	授業科目名	単位	履修年次	卒業要件	備考
教育課程及び指導法に関する科目	各教科の指導法(国語)	必修	中等国語科教育法A	2	2～	2	46
			中等国語科教育法B	2	2～		
		選択必修	中等国語科指導法開発A	2	3～	2	
			中等国語科指導法開発B	2	3～		
			中等国語科実地研究	2	3～		
教科に関する科目	国語	必修	国語学概論	2	1～	2	30
			中等国語科内容論(国語学)	2	1～		
			国語学(文章表現)	2	2～		
			国語学(古代語基礎)	2	2～		
		選択必修	国語学(音声言語)	2	2～		
			国語学(地域言語)	2	2～		
			国語学(古代語)	2	2～		
			国語学(現代語)	2	2～		
		必修	国文学概論	2	1～	2	
			中等国語科内容論(国文学)	2	1～		
			国文学(古代文学)	2	2～		
			国文学(現代文学)	2	2～		
		選択必修	国文学(中世文学)	2	2～		
			国文学(近世文学)	2	2～		
	国文学(近代文学)		2	2～			
	国文学(児童文学)		2	2～			
	漢文学	必修	漢文学概論	2	1～	2	
			漢文学(経子)	2	2～		
	漢文学	選択必修	漢文学(史伝・詩文)	2	2～		
	書道(書写を中心とする。)	必修	書写・書道概論	1	1～	1	
			書写・書道演習	1	2～		
	国語学 国文学 漢文学	選択必修	中等国語科内容開発(国語学)	2	3～	2	
			中等国語科内容開発(国文学)	2	3～		
			中等国語科内容開発(漢文学)	2	3～		

「教科に関する科目」については、中学校と高等学校で科目領域名(区分Ⅱ)が異なります。詳しくは、本手引の「○参考1 教育職員免許状取得に要する単位数について」を参照してください。

## 社会科教育専修

区分 I		区分 II		選必	授業科目名	単位	履修年次	卒業要件	備考				
教育課程及び指導法に関する科目		各教科の指導法(社会)		必修	中等社会科教育法 A	2	2～	2	46				
					中等社会科教育法 B	2	2～	2					
					中等社会科指導法開発	2	3～	2					
				選択必修	社会科教育特講(地理歴史科教育法)	2	2～	6					
					社会科教育特講(公民科教育法)	2	2～						
					社会科教育演習 A	2	3～						
					地理歴史科授業研究	2	3～						
					社会科教育演習 B	2	3～						
					公民科授業研究	2	3～						
					公民科授業研究	2	3～						
教科に関する科目	社会	日本史及び外国史	日本史	必修	日本史概論	2	1～	2	46				
				選択必修	日本史要説	2	2～	6					
					日本史演習 A	2	3～						
					日本史演習 B	2	3～						
					地域史研究 A	2	2～						
					地域史研究 B	2	2～						
					外国史	必修	世界史概論			2	1～	2	
		選択必修	世界史要説	2	2～	6							
			世界史演習 A	2	3～								
			世界史演習 B	2	3～								
		地理学(地誌を含む。)		必修	人文地理学概論	2	1～	2		30			
					自然地理学概論	2	1～	2					
				選択必修	地誌 A	2	2～	6					
					地誌 B	2	2～						
	地理学基礎実験				2	2～							
	地理学野外実習				2	2～							
	人文地理学演習				2	3～							
	人文地理学調査法				2	3～							
	自然地理学演習				2	3～							
	自然地理学調査法				2	3～							
	「法学, 政治学」		必修	法学概論(国際法を含む)	2	1～	2	46					
				政治学概論(国際政治を含む)	2	1～	2						
			選択必修	法学要説	2	2～	6						
				法学演習 A	2	3～							
				法学演習 B	2	3～							
				政治学要説	2	2～							
				政治学演習 A	2	3～							
				政治学演習 B	2	3～							
				「社会学, 経済学」		必修			社会学概論	2	1～	2	46
									社会学要説	2	2～	6	
選択必修	社会調査	2	2～										
	社会学演習 A	2	3～										
	社会学演習 B	2	3～										
	経済学 A(国際経済を含む)	2	1～										
経済学 B(国際経済を含む)	2	1～											

区分Ⅰ		区分Ⅱ	選必	授業科目名	単位	履修年次	卒業要件		備考
教科に関する科目	社会	「哲学, 倫理学, 宗教学」	必修	倫理学概論	2	1～	2		
			選択必修	倫理学要説	2	2～			
				倫理学演習A	2	3～			
				倫理学演習B	2	3～			
				哲学特講	2	2～			
		日本史	選択必修	中等歴史教育内容開発(日本史)	2	3～	2		
		外国史		中等歴史教育内容開発(外国史)	2	3～			
		地理学		中等地理教育内容開発	2	3～			
		法律学		中等法政治教育内容開発	2	3～			

「教科に関する科目」については、中学校社会と高等学校地歴・公民で科目領域名(区分Ⅱ)が異なります。詳しくは、本手引の「○参考1 教育職員免許状取得に要する単位数について」を参照してください。

## 数学教育専修

区分 I	区分 II	選必	授業科目名	単位	履修年次	卒業要件		備考	
教育課程及び指導法に関する科目	各教科の指導法(数学)	選択必修	中等数学科教育法 A	2	2～	4	6		
			中等数学科教育法 B	2	2～				
			中等数学科教育法 C	2	2～				
			中等数学科指導法開発 A	2	3～	2			
			中等数学科指導法開発 B	2	3～				
教科に関する科目	数学	代数学	線形代数学 I	2	1～	2	46		
			線形代数学 II	2	1～	2			
			代数学 I	2	2～	2			
			代数学 II	2	2～	2			
		選択必修	代数学 III	2	3～				
		幾何学	必修	幾何学 I	2	2～			2
			幾何学 II	2	2～	2			
			選択必修	集合・位相	2	2～			
	幾何学統論 A			2	3～				
	幾何学統論 B	2		3～					
	幾何学統論 C	2	3～						
	解析学	必修	解析学 I	2	1～	2			30
			解析学 II	2	1～	2			
			解析学 III	2	2～	2			
			解析学 IV	2	2～	2			
		選択必修	解析学統論 A	2	3～				
			解析学統論 B	2	3～				
			解析学統論 C	2	3～				
			解析学統論 D	2	3～				
	「確率論, 統計学」	選択必修	確率論	2	2～	2			
			統計学	2	2～				
	コンピュータ	必修	数理情報処理	2	2～	2			
	代数学	選択必修	中等数学科内容開発(代数)	2	3～	2			
	幾何学		中等数学科内容開発(幾何)	2	3～				
解析学	中等数学科内容開発(解析)		2	3～					

## 理科教育専修

区分 I	区分 II	選必	授業科目名	単位	履修年次	卒業要件	備考	
教育課程及び指導法に関する科目	各教科の指導法(理科)	必修	中等理科教育法 I A	1	3～	1	46	
			中等理科教育法 I B	1	3～	1		
			中等理科教育法 II A	1	3～	1		
			中等理科教育法 II B	1	3～	1		
		選択必修	中等理科指導法開発 A	2	3～	2		
			中等理科指導法開発 B	2	3～	2		
			中等理科教育法 II C	2	3～			
教科に関する科目	理科	必修	基礎物理学	2	1～	2	30	
			物理学実験 (コンピュータ活用を含む)	2	1～	2		
		選択必修	電磁気学	2	2～			
			力学・熱力学	2	2～			
			現代物理学	2	2～			
			物理学研究	1	3～			
		化学	必修	基礎化学	2	1～		2
				化学実験 (コンピュータ活用を含む)	2	1～		2
			選択必修	現代化学	2	2～		
				無機化学	2	2～		
				無機化学実験	1	3～		
				有機化学	2	2～		
		有機化学実験	1	3～				
		生物化学	2	2～				
	生物学	必修	基礎生物学	2	2～	2		
			生物学実験 (コンピュータ活用を含む)	2	2～	2		
		選択必修	応用生物学	2	2～			
			植物遺伝学	2	2～			
			植物学実験	1	3～			
			動物学	2	2～			
	動物学実験	1	3～					
	地学	必修	基礎地学	2	2～	2		
			地学実験 (コンピュータ活用を含む)	2	2～	2		
		選択必修	固体地球科学	2	2～			
			地学巡検	1	2～			
			気象学	2	2～			
			大気環境物理学	2	2～			
			宇宙惑星科学	2	2～			
地球科学野外実習			2	3～				
大気水圏科学研究	1	3～						
物理学	選択必修	中等理科内容開発 (物理学)	2	3～	4			
化学		中等理科内容開発 (化学)	2	3～				
生物学		中等理科内容開発 (生物学)	2	3～				
地学		中等理科内容開発 (地学)	2	3～				

(注)小学校教育コース開設の理科基礎 (物理学), 理科基礎 (化学), 理科基礎 (生物学), 理科基礎 (地学) を履修することが望ましい。

## 音楽教育専修

区分Ⅰ		区分Ⅱ	選必	授業科目名	単位	履修年次	卒業要件	備考	
教育課程及び指導法に関する科目	各教科の指導法(音楽)	必修	中等音楽科教育法A	2	2～	2	6		
			中等音楽科教育法B	2	2～	2			
		選択必修	中等音楽科指導法開発A	2	2～	2			
			中等音楽科指導法開発B	2	2～				
教科に関する科目	音楽	ソルフェージュ	必修	ソルフェージュ	2	1～	2	46	
		声乐(合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。)	必修	声乐基礎演習	2	1～	2		
				合唱	2	2～	2		
		選択必修	声乐演習Ⅰa	2	2～				
			声乐演習Ⅰb	2	2～				
			声乐演習Ⅱa	2	3～				
			声乐演習Ⅱb	2	3～				
		器楽(合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。)	必修	ピアノ基礎演習	2	1～	2		
				管弦打楽器基礎演習	2	1～	2		
				合奏	2	2～	2		
				和楽器演習	2	2～	2		
				伴奏実習	2	3～	2		
				選択必修	ピアノ演習Ⅰa	2	2～		30
		ピアノ演習Ⅰb	2	2～					
		ピアノ演習Ⅱa	2	3～					
		ピアノ演習Ⅱb	2	3～					
		弦楽演習Ⅰa	2	2～					
		弦楽演習Ⅰb	2	2～					
		弦楽演習Ⅱa	2	3～					
		弦楽演習Ⅱb	2	3～					
		管打演習Ⅰa	2	2～					
		管打演習Ⅰb	2	2～					
		管打演習Ⅱa	2	3～					
		管打演習Ⅱb	2	3～					
		指揮法	必修	指揮法	2	2～	2		
		音楽理論、作曲法(編曲法を含む。)&音楽史(日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。)	必修	音楽理論演習	2	1～	2		
				作曲・編曲法Ⅰ	2	2～	2		
				音楽史	2	2～	2		
			選択必修	作曲・編曲法Ⅱ	2	2～			
				作曲演習Ⅰ	2	2～			
				作曲演習Ⅱ	2	2～			
		声乐	選択必修	音楽文化論	2	2～	4		
				日本音楽概論	2	3～			
中等音楽科内容開発(声乐)	2			3～					
中等音楽科内容開発(ピアノ)	2			3～					
器楽	選択必修	中等音楽科内容開発(作曲)	2	3～	4				
		中等音楽科内容開発(音楽学)	2	3～					

## 美術教育専修

区分Ⅰ		区分Ⅱ	選必	授業科目名	単位	履修年次	卒業要件	備考	
教育課程及び指導法に関する科目	各教科の指導法(美術・工芸)	必修	中等美術科教育法A	2	2～	2	6		
			中等美術科教育法B	2	2～	2			
		選択必修	中等美術科指導法開発A	2	3～	2			
			中等美術科指導法開発B	2	3～				
			工芸科教育法A	2	2～				
工芸科教育法B	2	3～							
教科に関する科目	美術	絵画(映像メディア表現を含む。)	必修	絵画Ⅰ	2	1～	2	46	
			選択必修	デッサン	2	1～			
				水彩画演習	2	1～			
				野外写生	2	1～			
				版画演習A	2	1～			
				版画演習B	2	1～			
				イメージデッサン	2	1～			
				絵画Ⅱ(写生)	2	2～			
				絵画Ⅱ(構想)	2	2～			
				人体デッサン	2	2～			
				絵画制作(人体)	2	2～			
				絵画制作(構想)	2	2～			
				絵画研究A	4	3～			
				絵画研究B	4	3～			
				彫刻	必修	彫刻Ⅰ	2		1～
		選択必修	彫刻Ⅱ		2	2～			
			彫刻制作		2	2～			
			彫刻研究		4	3～			
		デザイン(映像メディア表現を含む。)	必修	デザインⅠ	2	1～	2		30
			選択必修	デザインⅡ	2	2～			
				デザインⅢ	2	3～			
				デザイン理論	2	2～			
				デザイン研究	2	3～			
		工芸	必修	工芸Ⅰ	2	1～	2		
			選択必修	工芸Ⅱ(陶芸)	2	2～			
				工芸Ⅱ(素材と加工)	2	2～			
				工芸理論	2	2～			
				工芸制作(陶芸)	2	2～			
				工芸研究(陶芸)	2	3～			
				工芸研究(木工芸)	2	3～			
		美術理論及び美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)	必修	美術理論・美術史Ⅰ	2	1～	2		
			美術鑑賞	2	2～	2			
			選択必修	美術理論・美術史Ⅱ	2	2～			
				美術理論・美術史演習Ⅰ	2	3～			
				美術理論・美術史演習Ⅱ	2	3～			
		絵画	必修	中等美術科内容開発(絵画)	2	3～	2		
		彫刻		中等美術科内容開発(彫刻)	2	3～	2		
		デザイン		中等美術科内容開発(デザイン)	2	3～	2		
		工芸		中等美術科内容開発(陶芸)	2	3～	2		
		その他			図法製図演習	2	1～		

「教科に関する科目」については、中学校と高等学校で科目領域名(区分Ⅱ)が異なっています。詳しくは、本手引の「○参考1 教育職員免許状取得に要する単位数について」を参照してください。

工芸免許取得については、卒業要件外教員免許取得ガイドを参照してください。

## 保健体育専修

区分Ⅰ		区分Ⅱ		選必	授業科目名	単位	履修年次	卒業要件		備考	
教育課程及び指導法に関する科目		各教科の指導法(保健体育)		必修	中等保健体育科教育法A	2	2～	2	6		
					中等保健体育科教育法B	2	2～	2			
				選択必修	中等保健体育科指導法開発A	2	3～	2			
					中等保健体育科指導法開発B	2	3～	2			
教科に関する科目	保健体育	体育実技		選択必修	体育実技(体づくり運動)	1	1～	6	46		
					体育実技(器械運動)	1	1～				
					体育実技(陸上競技)	1	1～				
					体育実技(バスケットボール)	1	1～				
					体育実技(サッカー)	1	1～				
					体育実技(バレーボール)	1	1～				
					体育実技(テニス)	1	1～				
					体育実技(ニュースポーツ)	1	1～				
					体育実技(卓球)	1	1～				
					体育実技(水泳)	1	1～				
					体育実技(リズムダンス・創作ダンス)	1	1～				
					体育実技(フォークダンス・社交ダンス)	1	1～				
					体育実技(柔道)	1	1～				
					体育実技(剣道)	1	1～				
						「体育原理, 体育心理学, 体育経営管理学, 体育社会学」及び運動学(運動方法学を含む。)	「体育原理, 体育心理学, 体育経営管理学, 体育社会学」				選択必修
	体育史	2	1～								
	体育心理学	2	2～								
	体育社会学	2	2～								
	体育経営管理学	2	2～								
		運動学(運動方法学を含む。)	運動学(運動方法学を含む。)	必修	運動学(運動方法学を含む)	2	1～	2			
	選択必修			体力トレーニングの理論と実践	2	1～					
		生理学(運動生理学を含む。)	生理学(運動生理学を含む。)	必修	生理学(運動生理学を含む)	2	2～	2			
	選択必修			運動栄養学	2	1～					
		公衆衛生学	公衆衛生学・衛生学(予防医学を含む)	必修	公衆衛生学・衛生学(予防医学を含む)	2	2～	2			
	選択必修			予防医学	2	3～					
		学校保健(小児保健, 精神保健, 学校安全及び救急処置を含む。)	学校保健(小児保健, 精神保健, 学校安全及び救急処置を含む)	必修	学校保健(小児保健, 精神保健, 学校安全及び救急処置を含む)	2	2～	2			
	選択必修			救急処置	2	2～					
				精神保健	2	2～					
				選択必修	性教育	2	2～				
		体育原理		選択必修	中等保健体育科内容開発(体育学)	2	3～	2			
		運動学			中等保健体育科内容開発(運動学)	2	3～				
		学校保健			中等保健体育科内容開発(学校保健)	2	3～				

## 技術教育専修

区分 I	区分 II	選必	授業科目名	単位	履修年次	卒業要件	備考
教育課程及び指導法に関する科目	各教科の指導法(技術)	必修	技術科教育法 A	2	2～	2	6
			技術科教育法 B	2	2～		
		選択必修	技術科指導法開発 A	2	3～	2	
			技術科指導法開発 B	2	3～		
教科に関する科目	技術	必修	木材加工(製図及び実習を含む。)	2	1～	2	46
			木材学(製図及び実習を含む)	2	1～		
			木材料と加工	2	2～		
			2	2～			
		選択必修	図学と製図	2	2～		
			木材加工演習	2	2～		
			木材活用論	2	3～		
			2	3～			
		必修	金属加工(製図及び実習を含む。)	2	2～	2	
			金属学(製図及び実習を含む)	2	2～		
		選択必修	金属加工演習	2	2～		
			2	2～			
	必修	機械(実習を含む。)	機械学(実習を含む)	2	2～	2	
			機構と機械要素	2	2～		
		選択必修	材料と動力の力学	2	2～		
			機械演習	2	2～		
	2	3～					
	2	3～					
	必修	電気(実習を含む。)	電気学(実習を含む)	2	2～	2	30
			電気エネルギーと変換	2	2～		
			電子技術	2	2～		
			電気演習	2	2～		
	選択必修	電気活用論	2	3～			
		2	3～				
		2	3～				
		2	3～				
	必修	栽培(実習を含む。)	栽培学(実習を含む)	2	1～	2	
			栽培演習	2	2～		
	必修	情報とコンピュータ(実習を含む。)	情報学(実習を含む)	2	2～	2	
			情報技術	2	2～		
			情報処理	2	2～		
			情報演習	2	2～		
選択必修	情報活用論	2	3～				
	2	3～					
	2	3～					
選択必修	木材加工	技術科内容開発(木材)	2	3～	4		
	機械	技術科内容開発(機械)	2	3～			
	電気	技術科内容開発(電気)	2	3～			
	情報とコンピュータ	技術科内容開発(情報)	2	3～			

## 家政教育専修

区分Ⅰ	区分Ⅱ	選必	授業科目名	単位	履修年次	卒業要件	備考	
教育課程及び指導法に関する科目	各教科の指導法(家庭)	必修	中等家庭科教育法A	2	2～	6		
			中等家庭科教育法B	2	2～			
		選択必修	中等家庭科指導法開発A	2	3～			
			中等家庭科指導法開発B	2	3～			
教科に関する科目	家庭	必修	中等家庭科内容論(家庭生活領域)	2	1～	46		
			家庭経営論(家族関係学及び家庭経済学を含む)	2	1～			
		選択必修	家政学と家庭科教育	2	1～			
			現代の家族	2	2～			
		必修	中等家庭科内容論(被服領域)	2	1～			
			衣生活論	2	1～			
			被服構成の理論と実習	2	2～			
		選択必修	被服科学A	2	2～			
			被服科学B	2	2～			
			被服科学実験	2	3～			
		必修	中等家庭科内容論(食物領域)	2	1～			
			食生活論(栄養学及び食品学を含む)	2	1～			
			調理の理論と実習	2	2～			
		選択必修	食物調製の科学	2	1～			
			食物科学A	2	2～			
			食物科学B	2	2～			
	食物科学実験		2	3～				
	必修	中等家庭科内容論(住居領域)	2	1～				
		住生活論	2	1～				
		選択必修	住生活の設計(製図を含む)	2	2～			
			住環境と住生活管理	2	2～			
	選択必修	住生活演習	2	3～				
		保育学(実習を含む)	2	1～				
	選択必修	生活と情報	2	1～				
		家庭生活と電子・電気機器	2	2～				
		生活情報演習	2	3～				
	選択必修	中等家庭科内容開発(家庭生活領域)	2	3～				
		中等家庭科内容開発(被服領域)	2	3～				
		中等家庭科内容開発(食物領域)	2	3～				
		中等家庭科内容開発(住居領域)	2	3～				
							2	

「教科に関する科目」については、中学校と高等学校で科目領域名(区分Ⅱ)が異なります。詳しくは、本手引の「○参考1 教育職員免許状取得に要する単位数について」を参照してください。

## 英語教育専修

区分Ⅰ		区分Ⅱ	選必	授業科目名	単位	履修年次	卒業要件	備考
教育課程及び指導法に関する科目	各教科の指導法(英語)	必修	中等英語科教育法A	2	1～	2	6	
			中等英語科教育法B	2	2～	2		
			中等英語科指導法開発	2	3～	2		
		選択必修	英語科教育(第二言語習得)	2	2～		46	
			英語科教育(リーディング・リスニング)	2	2～			
教科に関する科目	英語	英語学	必修	中等英語科内容論(英語学)	2	1～	2	30
				英語学概論	2	2～	2	
			選択必修	英語の歴史	2	2～		
				英語の分析と解釈	2	2～		
				現代英語の文法	2	2～		
				言語と社会	2	2～		
		音声英語の実践		2	2～			
		英米文学	必修	中等英語科内容論(英米文学)	2	1～	2	
				英米文学概論	2	2～	2	
			選択必修	英米文学と創作	2	2～		
		英詩鑑賞		2	2～			
		英語コミュニケーション	必修	中等英語科内容論(英語コミュニケーション)	2	1～	2	
				英語リスニング・スピーキング初級	1	1～	1	
				英語リーディング・ライティング初級	1	1～	1	
			選択必修	英語リスニング・スピーキング中級A	1	2～		
	英語リスニング・スピーキング中級B			1	2～			
	英語リスニング・スピーキング上級			1	3～			
	英語リーディング・ライティング中級A			1	2～			
	英語リーディング・ライティング中級B			1	2～			
	異文化理解	必修	中等英語科内容論(異文化理解)	2	1～	2		
			異文化理解概論	2	2～	2		
	英語学	選択必修	中等英語科内容開発(英語学)	2	3～			
	英米文学		中等英語科内容開発(英米文学)	2	3～	2		
	異文化理解		中等英語科内容開発(異文化理解)	2	3～			

## 教育学専修

区 分	選 必	授 業 科 目 名	単 位	履 修 年 次	卒 業 要 件	備 考
教育課程及び指導法に関する科目		主免の教科の指導法			6	※主免の教科の履修方法により修得すること。
教科に関する科目		主免の教科に関する科目			30	
教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	選 択 必 修	教育哲学	2	3～	6	46
		-----	2	3～		
		-----	2	3～		
教育の方法及び技術		学習指導論	2	2～		
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		教育社会学	2	2～		
		-----	2	2～		
		-----	2	2～		
	-----	2	2～			
	国際理解教育概説	2	2～			
	必修	教育研究法Ⅱ	2	2～	2	
	選 択 必 修	教育研究法Ⅰ	2	1～	10	
		-----	2	3～		
		-----	2	3～		
		-----	2	3～		
		-----	2	3～		
		-----	2	3～		
		-----	2	3～		
		-----	2	3～		
		-----	2	3～		
		-----	2	3～		
	選 択	生涯教育計画論	2	3～	2	

## 教育心理学専修

区 分	選必	授 業 科 目 名	単 位	履 修 年 次	卒 業 要 件	備 考	
教育課程及び指導法に関する科目		主免の教科の指導法			6	※主免の教科の履修方法により修得すること。	
教科に関する科目		主免の教科に関する科目			30		
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	選択必修	学習心理学	2	2～	2	46	
		発達心理学特講	2	2～			
教育の方法及び技術		教育評価・測定	2	2～			
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目		人格心理学	2	2～			
		教育臨床心理学	2	2～			
	集団心理学	2	2～				
	必修	教育統計学Ⅰ	2	2	2		10
		教育心理学実験	2	2	2		
	選択必修	教育心理学基礎演習	2	1～	4		
		教育統計学Ⅱ	2	2～			
		発達心理学演習	2	2～			
		人格心理学演習	2	2～			
		教育評価・測定演習	2	2～			
		集団心理学演習	2	2～			
		教育臨床心理学演習	2	2～			
		学習心理学演習	2	3～			
		教育心理学特殊実験A	2	3～			
		教育心理学特殊実験B	2	3～			
		教育心理学特殊実験C	2	3～			
		教育心理学特殊実験D	2	3～			
		教育心理学特殊実験E	2	3～			
		教育心理学特殊実験F	2	3～			

## IV 自由選択科目

区 分 I	区 分 II	選必	授 業 科 目 名	単 位	履 修 年 次	卒 業 要 件	備 考
			プロジェクト科目	2			※プロジェクト科目の履修年次は、時間割で確認のこと。
			学校経営と学校図書館	2	4		
			学校図書館メディアの構成	2	4		
			学習指導と学校図書館	2	4		
			読書と人間形成	2	4		
			情報メディアの活用	2	4		

自由選択科目の卒業要件単位については、上記の授業科目の他、本学部開講の専門科目及び他学部開講の専門教育科目の修得単位をあてることができる。(但し、教養教育科目を除く。)

## V 卒業研究

14頁参照

平成18年度入学者用

# 学校教育教員養成課程

[障害児教育コース]

## I 学部科目

## 1 教職に関する科目

区分 I	区分 II	選必修	授業科目名	単位	履修 年次	卒業要件	備考	
教職の意義等に関する科目		必修	教職論	2	1	2		
教育の基礎理論に関する科目	教育の理念及び歴史に関する思想	必修	教育学概説	2	1	2	4	
			教育の哲学と歴史	2	2	2		
		選択	教育哲学	2	3～			
			日本教育史	2	3～			
		西洋教育史	2	3～				
	幼児・児童及び生徒の発達過程	必修	学校教育心理学	2	1	2	6	
			発達障害教育概論	2	3	2		
		選択必修	発達心理学A	2	1～	2		
			発達心理学B	2	1～			
			発達心理学C	2	1～			
		選択	学習心理学	2	2～			
		発達心理学特講	2	2～				
	教育に関する社会的・制度的事項	必修	教育の制度と社会	2	1	2	4	
		選択必修	教育社会学	2	2～	2		
			教育法制論	2	2～			
			生涯学習社会学	2	2～			
		教育経営学	2	2～				
選択		国際理解教育概説	2	2～				
	人権・同和教育	2	1～					
教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法	必修	カリキュラム論	2	2～	2	修得することが望ましい	
		必修	道徳の指導法	2	3	2		
		必修	特別活動の指導法	2	2	2		
	教育の方法及び技術	必修	情報メディアの授業活用	2	2～	2		4
		選択必修	学習指導論	2	2～	2		
			学習指導心理学	2	2～			
		選択	教育評価・測定	2	2～			
	教育情報科学概論	2	2～					
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	必修	生徒指導論 I (教育相談、進路指導を含む)	2	2	2	4		
	選択必修	教育相談論 A	2	3～	2			
		進路指導論	2	3～				
		生徒指導論 II A	2	3～				
	選択	人格心理学	2	2～				
		教育臨床心理学	2	2～				
集団心理学		2	2～					
総合演習	選択必修	総合演習 A	2	3～	2			
		総合演習 B	2	3～				
		総合演習 C	2	3～				
		総合演習 D	2	3～				
		総合演習 E	2	3～				
		総合演習 F	2	3～				

## 2 教職に関する科目に準ずる科目

区分Ⅰ	区分Ⅱ	選必	授業科目名	単位	履修年次	卒業要件	備考	
教職に関する科目に準ずる科目	現代的課題	必修	こどもと異文化理解	2	2	2	中・高免不可 幼・中・高免不可  幼免不可 幼免不可	
		選択必修	小学校における英語活動	2	2～	2		4
			社会福祉	2	2～			
			児童福祉	2	2～			
			青少年と情報社会	2	2～			
			養護原理	2	3～			
			家族援助論	2	3～			
			体験的学習	フレンドシップ学習の理論と実際	2			
		野外活動の理論と実際A（山の体験学習）	2	2～				
		野外活動の理論と実際B（海の体験学習）	2	1～				
	教科横断的思考・表現法	史跡実地踏査	1	2～				
		博物館実習	3	3～				
		算数読解論	2	1～				
		暮らしと環境	2	1～				
		こどもと言葉	2	1～				
		論理と表現	2	2～				
		博物館学Ⅰ	2	2～				
		博物館学Ⅱ	2	2～				
		博物館学Ⅲ	2	3～				
		視聴覚教育メディア論	2	2～				

## II コース科目

## 1 教職に関する科目（各教科の指導法）

区分Ⅰ	区分Ⅱ	選必	授業科目名	単位	履修 年次	卒業要件	備考
各教科の指導法 (小学校)	国語（書写を含む）	必修	初等国語科授業研究（書写を含む）	2	2～	2	18
	社会	必修	初等社会科授業研究	2	2～	2	
	算数	選択 必修	算数科授業研究A	2	2～	2	
			算数科授業研究B	2	2～		
	理科	必修	初等理科授業研究A	1	2～	1	
			初等理科授業研究B	1	2～	1	
	生活	選択 必修	生活科授業研究A	2	2～	2	
			生活科授業研究B	2	2～		
	音楽	必修	初等音楽科授業研究	2	2～	2	
図画工作	必修	図画工作科授業研究	2	2	2		
体育	必修	初等体育科授業研究	2	2	2		
家庭	必修	初等家庭科授業研究A	2	2～	2		
		初等家庭科授業研究B	2	2～			
各教科の指導法 (中学校)	国語	必修	中等国語科教育法A	2	2～	2	4
			中等国語科教育法B	2	2～	2	
	社会	選択 必修	中等社会科教育法A	2	2～	2	4
			中等社会科教育法B	2	2～	2	
			中等社会科指導法開発	2	3～	2	
	数学	選択 必修	中等数学科教育法A	2	2～	2	4
			中等数学科教育法B	2	2～	2	
			中等数学科教育法C	2	2～	2	
	理科	必修	中等理科教育法ⅠA	1	3～	1	4
			中等理科教育法ⅠB	1	3～	1	
			中等理科教育法ⅡA	1	3～	1	
			中等理科教育法ⅡB	1	3～	1	
	音楽	必修	中等音楽科教育法A	2	1～	2	4
			中等音楽科教育法B	2	2～	2	
	美術	必修	中等美術科教育法A	2	2～	2	4
			中等美術科教育法B	2	2～	2	
	保健体育	必修	中等保健体育科教育法A	2	2～	2	4
			中等保健体育科教育法B	2	2～	2	
	技術	必修	技術科教育法A	2	2～	2	4
技術科教育法B			2	2～	2		
家庭	必修	中等家庭科教育法A	2	2～	2	4	
		中等家庭科教育法B	2	2～	2		
英語	選択 必修	中等英語科教育法A	2	1～	2	4	
		中等英語科教育法B	2	2～	2		
		中等英語科指導法開発	2	3～	2		

## 2 教職に関する科目（教育実習）

区分Ⅰ	区分Ⅱ	選必	授業科目名	単位	履修 年次	卒業要件	備考
教育実習	小学校	必修	教育実習Ⅰ（観察・参加実習）	1	1・2	1	6
			教育実習Ⅱ（小学校教育実習基礎研究）	1	3	1	
			教育実習Ⅲ（附属小学校実習）	4	3	4	
		選択	学校教員インターンシップ	1	4		
	中学校	必修	教育実習Ⅰ（観察・参加実習）	1	1・2	1	6
			教育実習Ⅱ（中学校教育実習基礎研究）	1	3	1	
教育実習Ⅲ（附属中学校実習）			4	3	4		
		選択	学校教員インターンシップ	1	4		

## 3 教科に関する科目

基礎免小学校の教科は27頁を、基礎免中学校の教科は36頁～46頁を参照すること。

## 【平成19年度入学者適用】

## Ⅲ 特別支援教育に関する科目

区 分		選必	授 業 科 目 名	単 位	履 修 年 次	卒 業 要 件	備 考	
特別支援教育の基礎理論に関する科目		必修	特別支援教育概論	2	1～	2		
		選択	障害者教育史概論	2	2～			
			特別支援教育演習	2	3～			
特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	必修	知的障害者心理学概論	2	2～	2	知的障害者領域	
			知的障害者生理・病理学概論	2	1～	2	知的障害者領域	
			肢体不自由者心理・生理・病理学概論	2	2～	2	肢体不自由者領域	
			病弱者心理・生理・病理学概論	2	2～	2	病弱者領域	
		選択	特別支援心理演習	2	3～		知的障害者領域	
			特別支援病理演習	2	3～		知的障害者領域	
		心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	必修	知的障害者教育課程・方法論	2	3～	2	知的障害者領域
				肢体不自由者教育課程・方法論	2	3～	2	肢体不自由者領域
	病弱者教育課程・方法論			2	2～	2	病弱者領域	
	知的障害者指導論			2	2～	2	知的障害者領域	
	選択	特別支援臨床演習	2	3～		肢体不自由者領域		
		特別支援実践演習	2	3～		知的障害者領域		
免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	必修	視覚障害者教育概論	1	2～	1	視覚障害者領域	
			聴覚障害者教育概論	1	2～	1	聴覚障害者領域	
			発達障害者心理概論	2	3～	2	重複・LD等領域	
			重度・重複障害者教育概論	1	2～	1	重複・LD等領域	
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習	必修	特別支援教育実習Ⅱ（特別支援教育実習基礎研究）	1	2	1			
		特別支援教育実習Ⅲ（附属養護学校実習）	4	3	4			
	選択	特別支援教育インターンシップ	1	4				

28

## Ⅳ 卒業研究

14頁参照

## 【平成18年度入学者適用】

## Ⅲ 特殊教育に関する科目

区 分	選必	授 業 科 目 名	単 位	履 修 年 次	卒 業 要 件	備 考
教育の基礎理論に関する科目	必修	障害児教育概論	2	1～	2	25
	選択 必修	障害児教育演習	2	3～	4	
		障害児教育史	2	3～		
		障害者福祉論	2	3～		
心身に障害のある幼児，児童 又は生徒の心理，生理及び病 理に関する科目	必修	障害児心理学概論	2	2～	2	
		障害児病理概論	2	2～	2	
	選択 必修	脳生理学概論	2	1～	4	
		発達診断法演習	2	2～		
		精神衛生概論	2	2～		
		障害児教育研究法	2	2～		
		障害児心理学演習	2	3～		
障害児病理演習	2	3～				
心身に障害のある幼児，児童 又は生徒の教育課程及び指導 法に関する科目	必修	障害児教育課程・方法論	2	3～	2	
		障害児指導法A	2	2～	2	
	選択 必修	障害児教育課程・方法論演習	2	3～	2	
		障害児指導法B	2	3～		
		障害児指導法演習	2	3～		
		障害児発達相談研究	2	3～		
障害児教育工学	2	4				
心身に障害のある幼児，児童 又は生徒についての教育実習	必修	障害児教育実習Ⅱ(障害児教育実習基礎研究)	1	2	1	
		障害児教育実習Ⅲ(附属養護学校実習)	4	3	4	
	選択	障害児教育実習Ⅳ(協力養護学校実習)	1	4		
		障害児教育インターンシップ	1	4		

## Ⅳ 卒業研究

14頁参照

平成18年度入学者用

# 学校教育教員養成課程

〔幼児教育コース〕

## I 学部科目

## 1 教職に関する科目

区分Ⅰ	区分Ⅱ	選必	授業科目名	単位	履修 年次	卒業要件	備考
教職の意義等に関する科目		必修	教職論	2	1	2	
教育の基礎理論に関する科目	教育の理念及び 教育史に関する 思想	必修	教育学概説	2	1	2	4
			教育の哲学と歴史	2	2	2	
		選択	教育哲学	2	3～		
			日本教育史	2	3～		
	西洋教育史		2	3～			
	幼児・児童及び 生徒の発達過程 の習	必修	学校教育心理学	2	1	2	6
			発達障害教育概論	2	3	2	
			発達心理学C	2	1～	2	
		選択	発達心理学A	2	1～		
			発達心理学B	2	1～		
			学習心理学	2	2～		
	教育に関する制度的 又は経営的 事項	必修	教育の制度と社会	2	1	2	4
		選択 必修	教育社会学	2	2～	2	
			教育法制論	2	2～		
生涯学習社会論			2	2～			
教育経営学			2	2～			
選択		国際理解教育概説	2	2～			
人権・同和教育	2	1～					
教育課程及び指導 法に関する科目	教育課程の意義及び編成の 方法	必修	カリキュラム論	2	2～	2	
		必修	情報メディアの授業活用	2	2～	2	
	選択		学習指導論	2	2～		
			学習指導心理学	2	2～		
		教育評価・測定	2	2～			
教育情報科学概論		2	2～				
総合演習		選択 必修	総合演習A	2	3～	2	
	総合演習B		2	3～			
	総合演習C		2	3～			
	総合演習D		2	3～			
	総合演習E		2	3～			
	総合演習F		2	3～			
			2	3～			

修得することが望ましい

## 2 教職に関する科目に準ずる科目

区分Ⅰ	区分Ⅱ	選必	授業科目名	単位	履修 年次	卒業要件	備考	
教職に関する科目 に準ずる科目	現代的課題	必修	社会福祉	2	2～	2	6	
			児童福祉	2	2～	2		
			家族援助論	2	3～	2		
	体験的学習	選択	こどもと異文化理解	2	2～			中・高免不可
			フレンドシップ学習の理論と実際	2	2～			
			野外活動の理論と実際A (山の体験学習)	2	2～			
			野外活動の理論と実際B (海の体験学習)	2	1～			
			博物館実習	3	3～			
	教科・横断的 思考・表現法	選択	くらしと環境	2	1～			中・高免不可
			こどもと言葉	2	1～			
			博物館学Ⅰ	2	2～			
			博物館学Ⅱ	2	2～			
			博物館学Ⅲ	2	3～			
			視聴覚教育メディア論	2	2～			

## 【平成19年度入学者適用】

## Ⅱ コース科目

区分Ⅰ	区分Ⅱ	選必	授業科目名	単位	履修年次	卒業要件		備考
教育実習		必修	教育実習Ⅰ（観察・参加実習）	1	1・2	1	6	
			教育実習Ⅱ（幼稚園教育実習基礎研究）	1	3	1		
			教育実習Ⅲ（附属幼稚園実習）	4	3	4		
		選択	教育実習Ⅳ（協力幼稚園実習）	1	4			
			学校教員インターンシップ	1	4			
教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	必修	幼児教育概説	2	1	2		
		選択必修	幼児教育学演習	2	1～			
			幼児教育史	2	2～			
教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法	必修	幼児カリキュラム開発	2	3～	2	18	
		必修	保育内容総論	2	2～	2		
	幼児の人間関係		2	2～	2			
	幼児の言葉		2	2～	2			
	幼児の環境		2	2～	2			
	幼児の健康		2	3～	2			
	幼児の音楽表現		2	3～	2			
	幼児の造形表現		2	3～	2			
	教育の方法及び技術	必修	幼児教育方法	2	2～	2		
	生徒指導，教育相談及び進路指導等に関する科目	幼児理解の理論及び方法	必修	幼児臨床心理学	2	2～		
選択必修			幼児研究法	2	4			
教科に関する科目	体育	必修	幼児体育A	1	2～	1	6	18
			幼児体育B	1	2～	1		
	音楽	必修	幼児音楽Ⅰ	2	1～	2		
			幼児音楽Ⅱ	2	2～	2		
	音楽 (中学校)	選択必修	幼児音楽実技	1	3～			
			ピアノ実技	1	3～			
		2	ソルフェージュ	2	1～			
			音楽理論演習	2	1～			
			合唱	2	2～			
			合奏	2	2～			
	国語	選択必修	初等国語科内容研究Ⅰ（書写を含む）		2	1～	2	
			算数科内容研究		2	2～		
	生活	2	生活科内容研究A		2	2～		
			生活科内容研究B		2	2～		
	図画工作	必修	幼児の図画工作A	1	1～	1	4	
幼児の図画工作B			1	2～	1			
幼児の図画工作C			1	2～	1			
幼児の図画工作D			1	1～	1			
家庭 (中学校)	選択必修	家庭経営論（家族関係学及び家庭経済学を含む）		2	1～			
系関係科目	次頁に示す各系学生対象の必修科目					6		

## 【平成18年度入学者適用】

## Ⅱ コース科目

区分Ⅰ	区分Ⅱ	選必	授業科目名	単位	履修年次	卒業要件		備考
教育実習		必修	教育実習Ⅰ（観察・参加実習）	1	1・2	1	6	
			教育実習Ⅱ（幼稚園教育実習基礎研究）	1	3	1		
			教育実習Ⅲ（附属幼稚園実習）	4	3	4		
		選択	教育実習Ⅳ（協力幼稚園実習）	1	4			
			学校教員インターンシップ	1	4			
教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	必修	幼児教育概説	2	1	2		
		選択必修	幼児教育学演習	2	1～			
			幼児教育史	2	2～			
教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法	必修	幼児カリキュラム開発	2	3～	2	18	
		必修	保育内容総論	2	2～	2		
	幼児の人間関係		2	2～	2			
	幼児の言葉		2	2～	2			
	幼児の環境		2	2～	2			
	幼児の健康		2	3～	2			
	幼児の音楽表現		2	3～	2			
	幼児の造形表現		2	3～	2			
	教育の方法及び技術	必修	幼児教育方法	2	2～	2		
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	幼児理解の理論及び方法	必修	幼児臨床心理学	2	2～	2		56
		選択必修	幼児研究法	2	4			
教科に関する科目	体育	必修	幼児体育A	1	2～	1	6	
			幼児体育B	1	2～	1		
	音楽	必修	幼児音楽Ⅰ	2	1～	2		
			幼児音楽Ⅱ	2	2～	2		
		選択必修	幼児音楽実技	1	3～			
			ピアノ実技	1	3～			
	音楽（中学校）	選択必修	ソルフェージュ	2	1～		8	
			音楽理論演習	2	1～			
			合唱	2	2～			
			合奏	2	2～			
	国語	選択必修	初等国語科内容研究Ⅰ（書写を含む）	2	1～		2	
	算数		算数科内容研究	2	2～			
	生活		生活科内容研究A	2	2～			
		生活科内容研究B	2	2～				
	図画工作	必修	幼児の図画工作A	1	1～	1	4	
幼児の図画工作B			1	2～	1			
幼児の図画工作C			1	2～	1			
幼児の図画工作D			1	1～	1			
家庭（中学校）	選択必修	家庭経営論（家族関係学及び家庭経済学を含む）	2	1～				
系関係科目	次頁に示す各系学生対象の必修科目					6		

## 系関係科目

○幼稚園教育・保育所保育専門系学生対象 《保育士資格を取得する場合は、下記科目の単位全てと幼児教育学演習（61頁）を必ず修得すること。》

区 分	選必	授 業 科 目 名	単 位	履 修 年 次	卒 業 要 件	備 考
教科に関する科目・保健 (中・高)	選択	小児保健Ⅰ	2	2～		※平成18年度入学者の保育実習(ⅠA)、保育実習(Ⅰ事前・事後指導)の履修年次は3年次。
養護に関する科目	必修	救急処置実習	1	3～	1	
	選択	栄養学(食品学を含む)	2	2～		
		社会福祉援助技術	2	3～		
		養護原理	2	3～		
	必修	乳児保育	2	2～	2	
	選択	障害児教育概論	2	2～		
		養護内容	1	3～		
	必修	保育実習(ⅠA)	2	2	2	
		保育実習(Ⅰ事前・事後指導)	1	2・3	1	
	選択	保育実習(ⅠB)	2	3		
		保育実習Ⅱ	2	3		

○幼稚園教育・小学校教育専門系学生対象 《小学校教員免許を取得する場合の単位修得方法については、卒業要件外免許取得ガイドを参照のこと。》

区 分	選必	授 業 科 目 名	単 位	履 修 年 次	卒 業 要 件	備 考
各教科の指導法	選択	国語(書写を含む)	2	2～		
		社会	2	2～		
		算数	算数科授業研究A	2	2～	
			算数科授業研究B	2	2～	
		理科	初等理科授業研究A	1	3～	
			初等理科授業研究B	1	3～	
		生活	生活科授業研究A	2	2～	
			生活科授業研究B	2	2～	
		音楽	初等音楽科授業研究	2	2～	
		図画工作	図画工作科授業研究	2	2～	
		体育	初等体育科授業研究	2	2～	
		家庭	初等家庭科授業研究A	2	2～	
初等家庭科授業研究B	2		2～			
教育課程及び指導法に関する科目	必修	道德教育論	2	3	2	
	必修	特別活動論	2	2	2	
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	必修	生徒指導論Ⅰ(教育相談、進路指導を含む)	2	2	2	
教科に関する科目	選択	初等社会科内容研究Ⅰ	2	2～		
		初等理科内容研究	2	2～		
		初等音楽科内容研究	2	1～		
		図画工作科内容研究	2	1～		
		初等体育科内容研究Ⅰ	2	1～		
		初等家庭科内容研究A	2	2～		
		初等家庭科内容研究B	2	2～		
教育実習		教育実習Ⅲ(附属小学校実習)	2	4		

## IV 自由選択科目

区分Ⅰ	区分Ⅱ	選必	授業科目名	単位	履修年次	卒業要件	備考
			プロジェクト科目	2			※プロジェクト科目の履修年次は、時間割で確認のこと。
			学校経営と学校図書館	2	4		
			学校図書館メディアの構成	2	4		
			学習指導と学校図書館	2	4		
			読書と人間形成	2	4		
			情報メディアの活用	2	4		

自由選択科目の卒業要件単位については、上記の授業科目の他、本学部開講の専門科目及び他学部開講の専門教育科目の修得単位をあてることができる。(但し、教養教育科目を除く。)

## V 卒業研究

14頁参照

平成18年度入学者用

# 養護教諭養成課程

## I 学部科目

## 1 教職に関する科目

区分 I	区分 II	選必	授業科目名	単位	履修 年次	卒業要件	備考
教職の意義等に関する科目		必修	教職論	2	1	2	
教育の基礎理論に関する科目	教育の理念及び歴史に関する思想	必修	教育学概説	2	1	2	4
			教育の哲学と歴史	2	2	2	
		選択	教育哲学	2	3～		
			日本教育史	2	3～		
			西洋教育史	2	3～		
	幼児・児童及び生徒の発達過程	必修	学校教育心理学	2	1	2	6
			発達障害教育概論	2	3	2	
		選択必修	発達心理学A	2	1～	2	
			発達心理学B	2	1～		
			発達心理学C	2	1～		
	選択	学習心理学	2	2～			
		発達心理学特講	2	2～			
	教育に関する社会的・法的事項	必修	教育の制度と社会	2	1	2	4
		選択必修	教育社会学	2	2～	2	
			教育法制論	2	2～		
		生涯学習社会論	2	2～			
		教育経営学	2	2～			
選択	国際理解教育概説	2	2～				
		人権・同和教育	2	1～			
						修得することが望ましい	
教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法	必修	カリキュラム論	2	2～	2	
		必修	道徳の指導法	2	3	2	
	特別活動の指導法	必修	特別活動論	2	2	2	
	教育の方法及び技術	必修	情報メディアの授業活用	2	2～	2	4
		選択必修	学習指導論	2	2～	2	
		学習指導心理学	2	2～			
選択	教育評価・測定	2	2～				
		教育情報科学概論	2	2～			
生徒指導及び教育相談に関する科目		必修	生徒指導論 I (教育相談, 進路指導を含む)	2	2	2	4
		選択必修	教育相談論 A	2	3～	2	
			生徒指導論 II A	2	3～		
	選択	人格心理学	2	2～			
		教育臨床心理学	2	2～			
		集団心理学	2	2～			
総合演習		選択必修	総合演習 A	2	3～	2	
			総合演習 B	2	3～		
			総合演習 C	2	3～		
			総合演習 D	2	3～		
			総合演習 E	2	3～		
			総合演習 F	2	3～		

## 2 教職に関する科目に準ずる科目

区分Ⅰ	区分Ⅱ	選必	授業科目名	単位	履修年次	卒業要件	備考
教職に関する科目に準ずる科目	現代的課題	選択必修	社会福祉	2	1～	2	
			児童福祉	2	2～		
			家族援助論	2	2～		
	体験的学習	選択	フレンドシップ学習の理論と実際	2	2～		
教科横断的思考・表現法			くらしと環境	2	1～		

## Ⅱ 課程科目

## 1 養護に関する科目

区分	選必	授業科目名	単位	履修年次	卒業要件	備考
衛生学及び公衆衛生学（予防医学を含む。）	必修	公衆衛生学・衛生学（予防医学を含む）	2	2～	2	
	選択必修	疫学・衛生学	2	2～	2	
		予防医学	2	3～		
学校保健	必修	学校保健概論	2	2～	2	
	選択必修	学校保健管理	2	2～	2	
		性教育	2	3～		
養護概説	必修	養護概説	2	1～	2	
		養護活動論Ⅰ	2	2～	2	
	選択	養護活動論Ⅱ	2	2～		
		養護内容の開発 保健指導論	2 2	3～ 2～		
健康相談活動の理論及び方法	必修	健康相談活動Ⅰ	2	3～	2	
	選択	健康相談活動Ⅱ	2	4		
栄養学（食品学を含む。）	必修	栄養学（食品学を含む）	2	1～	2	40
解剖学及び生理学	必修	人体の構造	2	1～	2	
		人体の機能Ⅰ	2	1～	2	
	選択	人体の機能Ⅱ	2	2～		
		発育発達論	2	2～		
「微生物学，免疫学，薬理概論」	選択必修	薬物と人間	2	3～	2	
		微生物学	2	3～		
		免疫学	2	1～		
精神保健	必修	精神保健	2	2～	2	
看護学（臨床実習及び救急処置を含む。）	必修	小児保健Ⅰ	2	2～	2	
		看護学Ⅰ	2	2～	2	
		救急処置	2	2～	2	
		臨床実習	2	3	2	
	選択必修	内科学	2	3～	2	
		整形外科	2	2～		
		小児保健Ⅱ	2	3～		
		眼科学	2	2～		
		耳鼻咽喉科学	2	2～		
		皮膚科学	2	2～		
		歯科保健	2	3～		
		看護学Ⅱ	2	2～		
		救急処置実習	1	4		
障害児保健論	2	4				

## 2 教職に関する科目（養護実習）

区分Ⅰ	区分Ⅱ	選必	授業科目名	単位	履修年次	卒業要件	備考
養護実習		必修	養護実習Ⅰ（観察・参加実習）	1	1・2	1	5
			養護実習Ⅱ（養護実習基礎研究）	1	2	1	
			養護実習Ⅲ（附属実習）	1	3	1	
			養護実習Ⅳ（協力校実習）	2	3	2	
教育実習		選択	教育実習Ⅱ（中学校教育実習基礎研究）	1	3		
			教育実習Ⅲ（附属中学校実習）	4	4		

## 3 教職に関する科目（各教科の指導法（保健））

区分Ⅰ	区分Ⅱ	選必	授業科目名	単位	履修年次	卒業要件	備考
教育課程及び指導法に関する科目	各教科の指導法（保健）	必修	中等保健科教育法A	2	3～	2	4
			中等保健科教育法B	2	3～	2	
		選択	中等保健科指導法開発	2	4		
			保健教材論	2	4		

## IV 自由選択科目

区分Ⅰ	区分Ⅱ	選必	授業科目名	単位	履修年次	卒業要件	備考
			プロジェクト科目	2			※プロジェクト科目の履修年次は、時間割で確認のこと。
			学校経営と学校図書館	2	4		
			学校図書館メディアの構成	2	4		
			学習指導と学校図書館	2	4		
			読書と人間形成	2	4		
			情報メディアの活用	2	4		

自由選択科目の卒業要件単位については、上記の授業科目の他、本学部開講の専門科目及び他学部開講の専門教育科目の修得単位をあてることができる。（但し、教養教育科目を除く。）

## V 卒業研究

14頁参照

4 養護教諭特別別科開講科目

区分	時間割コード	授業科目	担当教員	開講曜日		単位	修了基準 (単位数)	備考	
				前期	後期				
教養教育科目	人文系列	641101	国語概説	吉田 則夫	木 3		2	音楽文化論は人数制限あり (20名以下)	
		641103	こどもと異文化理解②	小迫・福永・瀬田		木 2	2		
		641202	音楽文化論	山本 宏子	火 1		2		
		641116	美術理論・美術史 I	赤木 里香子		木 2	2		
		641105	デザイン理論	橋ヶ谷 佳正		火 1	2		
	社会系列	641106	日本国憲法	田代 菊雄	月 3		2		2
		641117	人文地理学概論	川田 力		集中	2		12 以上
		641102	世界史概論	田中 優	火 1		2		
		641109	日本史概論	上原 兼善		火 2	2		
	641119	経済学 B	橋本 勝		月 3	2			
	自然系列	641113	数学基礎(統計) 統計学 情報処理入門 (情報機器の操作を含む)	菅野 幸夫		火 3	2		2
体育	641114	保健体育	宮川 健		金 2	2	2		
外国語	641115	英語(コミュニケーションを含む)	上仲 律子	水 4		2	2		
養護に関する科目	衛生学及び公衆衛生学	642101	衛生学・公衆衛生学	高橋 香代 伊藤 武彦 三村 由香里 松枝 睦美		集中	2	12 以上	※養護教育演習の曜日・時限は指導教員の指示による。 (時間割コードは下記を参照) ・障害児保健は履修することが望ましい。
		642105	学校保健	門田 新一郎	火 2		2		
	642103	学校保健教育	門田 新一郎		金 5	2			
	※	養護教育演習	各指導教員		※	2	2		
		保健指導論				2	2		
		健康相談活動の理論及び方法				2	2		
	642113	障害児保健	浅野 孝		金 5	2	2		
養護概説	642114	養護概説	河内 信子	火 3		2	2		
	642110	養護活動論 I	河内 信子	木 4		2	2		
	642106	養護活動論 II	河内 信子		火 4	2	2		
栄養学	642116	栄養学(食品学を含む)	河田 哲典		水 2	2	2		
教職に関する科目	教育の基礎理論に関する科目	643137	教育の哲学と歴史③	尾上 雅信	木 3		2	2	
		643102	教育哲学①	森川 直	火 1		2		
		643138	教育哲学②	森川 直		木 4	2		
		643103	日本教育史	山中 芳和		金 5	2		
		643105	西洋教育史①	尾上 雅信	月 2		2		
		643108	西洋教育史②	尾上 雅信		月 2	2		
		643101	教育学概説③	森川・山中・尾上		金 1	2		
		643106	学校教育心理学④	古市 裕一		金 2	2		
		643107	発達心理学A②			未定	2		
		643109	教育社会学①	山口 健二	月 4		2		
	教育課程に関する科目	643139	教育社会学②	山口 健二		月 4	2	10 以上	
		643136	生涯学習社会論	熊谷 慎之輔	月 5		2		
		643113	教育法制論	北神 正行		月 2	2		
		643115	人権・同和教育②	田邊 泉		水 3	2		
	生徒指導及び教育相談に関する科目	643116	道徳教育論②	森川・井上・宮崎	金 4		2	2	
		643117	特別活動論①	熊谷 慎之輔	火 5		2		
		643118	特別活動論③	熊谷 慎之輔		火 5	2		
		643119	学習指導論①	尾島 卓	水 2		2		
		643120	学習指導論②	尾島 卓		水 2	2		
		643124	生徒指導論 I ②	杉山 嘉弘	火 2		2		
643125		教育相談論 A	東條 光彦	月 5		2			
養護実習	643126	教育相談論 B	山本 力	木 3		2	1 4		
	643127	集団心理学	井上 祥治		水 2	2			
	643128	人格心理学	水野 正憲	火 4		2			
	643129	教育臨床心理学	古市 裕一		木 2	2			
	643131	人間関係論 生涯発達とカウンセリング	山本 力		木 4	2			
643132	養護実習 I ※ 養護実習 II	有吉・河内・門田 実習委員会	火 4 集中		集中	4			

【養護教育演習】 指導教員別 時間割コード 高橋 香代: 642201 門田新一郎: 642202 伊藤 武彦: 642203  
河内 信子: 642204 松枝 睦美: 642205 三村由香里: 642206